

京都市内遺跡立会調査概報

平成14年度

2003年3月

京 都 市 文 化 市 民 局

ごあいさつ

京都は、山紫水明の恵まれた自然と、世界に誇る貴重な文化遺産に満ち、更には長い歴史と伝統に培われた文化がまちに息づく文化首都といわれる都市であります。市内の埋蔵文化財包蔵地には、時代ごとに幾層にもわたり積み重ねられた歴史の重みをもつ遺跡が数多く存在しております。

このような埋蔵文化財は、日本の歴史や文化の成り立ちを知ることができる国民共有の貴重な財産であり、将来にわたって我が国の文化発展の基礎をなすものであることが広く認識され、その保存と活用が図られなければなりません。

しかしながら、埋蔵文化財包蔵地内において土木工事等の開発行為が行われる場合などにそのままにしておくや埋蔵文化財に重大な影響を及ぼします。先人が残した埋蔵文化財を引き継いだ私たちは、その保存と開発との調整を適切に行い、これを後世に伝承していく責務があります。

本市では、こうした考えの下、京都の貴重な埋蔵文化財の保護に努めており、この度、平成14年度に文化庁の国庫補助を得て実施した埋蔵文化財調査の結果をまとめた概要報告書を作成致しました。調査のうち、試掘調査は京都市埋蔵文化財調査センターが実施し、発掘調査及び立会調査は、財団法人京都市埋蔵文化財研究所へ委託して実施したものです。

各調査の実施に当たりまして、御理解と御協力を賜りました市民の皆様をはじめ、御指導、御助言を賜りました関係機関の皆様深く感謝申し上げますとともに、本報告書が京都の歴史を知るための一助として、お役に立てば幸いに存じます。

平成15年3月

京都市文化市民局長

杉原和彦

例 言

- 1 本書は京都市文化市民局が財団法人京都市埋蔵文化財研究所へ委託して実施した、文化庁国庫補助事業に伴う平成14年度の京都市内遺跡立会調査概要報告である。
- 2 本書の編集は菅田薫を中心に、小谷裕、堀内寛昭、モンベティ恭代、吉本健吾が調整・作成実務を担当した。
- 3 各報告については文末に執筆者を記した。
- 4 写真撮影は村井伸也と幸明綾子が担当し、遺跡は調査担当者が行った。
- 5 遺物復元・彩色は村上勉、出水みゆきが担当した。
- 6 本書で用いた土壌色名は、農林水産省農林水産技術会議事務局監修の「新版標準土色帖」に準じた。
- 7 個々の調査地での計測値は、宅地の場合は仮の「水準点」を±0mとし、道路の場合には現行道路路面を地表面(±0m)としている。
- 8 使用方位・座標値は、使用測地系 日本測地系(改正前)平面直角座標系VIを使用した。
- 9 調査一覧表では各時代の「時代」は省略しており、調査日については簡略に記しているものもある。遺跡名は平安宮・平安京跡、長岡京跡については、官衙・条坊を優先した。
- 10 本書で使用した地図は京都市発行の都市計画基本図(縮尺1/2,500)を参考にし、作成したものである。

都市計画基本図は、縮尺を調整して以下のものを使用した。

平安宮・京跡 図版1～13 8,000分の1(衣笠山、船岡山、花園、聚楽廻、御所、山ノ内、壬生、三条大橋、西京極、鳥原、五条大橋、中河原、梅小路、京都駅)

その他の遺跡 図版14～26 10,000分の1(岩倉、西賀茂、幡枝、三宅八幡、鷹峯、植物園、松ヶ崎、宇多野、衣笠山、船岡山、相国寺、田中、鳴滝、花園、聚楽廻、御所、吉田、太秦、山ノ内、三条大橋、岡崎、五条大橋、清水寺、中河原、梅小路、京都駅、今熊野、山科、小山、岡新田、中山、川島、吉祥院、勸進橋、稲荷山、勸修寺、大原野、石見、寺戸、久世、城南宮、竹田、大亀谷、小塩、栗生、向日町、久我、下鳥羽、丹波橋、桃山、石田、長岡、羽束師、横大路、中書島、木幡池、日野、向島)

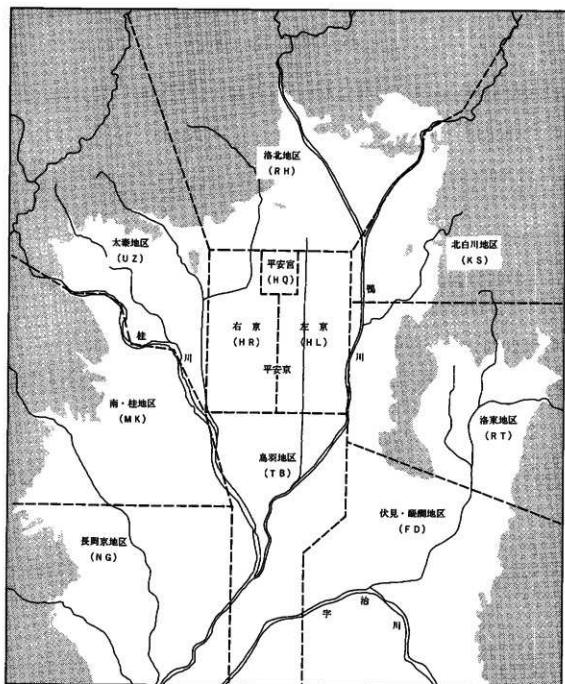
各報告の「調査位置図」5,000分の1

図1(西京極)

図7(鳥原)

図16(植物園)

図27(五条大橋)



地区設定概念図

本文目次

I 調査概要	1
II 平安京跡	3
1 平安京右京五条三坊二町 (01HR385)	3
2 平安京右京七条一坊五・六町 (02HR197)	6
III その他の遺跡	9
1 植物園北遺跡 (02RH51・53)	9
2 法住寺殿跡、六波羅政庁跡 (00RT389)	13
調査一覧表	15
報告書抄録	31

図 版 目 次

図版 1 ~ 26 調査位置図

- 図版 1 平安宮
- 図版 2 平安京左京北辺~三条 一・二坊
- 図版 3 平安京左京北辺~三条 三・四坊
- 図版 4 平安京左京 四~六条 一・二坊
- 図版 5 平安京左京 四~六条 三・四坊
- 図版 6 平安京左京 七~九条 一・二坊
- 図版 7 平安京左京 七~九条 三・四坊
- 図版 8 平安京右京北辺~三条 三・四坊
- 図版 9 平安京右京北辺~三条 一・二坊
- 図版10 平安京右京 四~六条 三・四坊
- 図版11 平安京右京 四~六条 一・二坊
- 図版12 平安京右京 七~九条 三・四坊
- 図版13 平安京右京 七~九条 一・二坊
- 図版14 1 植物園北遺跡 2 御堂ヶ池古墳群 3 仲野親王墓古墳 (垂笑山古墳)・上ノ段町遺跡・御所ノ内町遺跡
- 図版15 仁和寺院家跡・草木町遺跡・法金剛院境内・常盤仲之町遺跡・一ノ井遺跡・多藪町遺跡
- 図版16 1 岩倉忠在地遺跡 2 一乗寺向畑町遺跡 3 北野遺跡・北野麁寺
4 北白川麁寺 5 出雲寺跡・相国寺旧境内・室町殿跡 (花の御所)
6 法成寺跡
- 図版17 田中構之跡・京都大学北部構内遺跡・北白川追分町縄文遺跡・京都大学構内弥生遺跡・京都大学西部構内遺跡・京都大学本部構内遺跡・京都大学総合人間学部構内遺跡・神楽岡城跡・白河街区跡・岡崎遺跡・白河北殿跡・白河南殿跡・得長寿院跡・延勝寺跡・法勝寺跡
- 図版18 珍皇寺旧境内・法親寺旧境内・六波羅政庁跡・法住寺殿跡・法性寺跡
- 図版19 1 山科本願寺跡 2 山科本願寺南殿跡 3 鳥部 (辺) 野 4 中臣遺跡・中臣十三塚 5 日野谷寺町遺跡・法界寺旧境内
- 図版20 鳥羽離宮跡・鳥羽遺跡・下鳥羽遺跡・芹川城跡
- 図版21 1 深草遺跡・深草坊町遺跡・深草寺跡 2 唐橋遺跡 3 久我殿遺跡 4 向島城跡
- 図版22・23 伏見城跡・御香宮麁寺

図版24 長岡京跡

図版25 1 長岡京跡 2 下津林遺跡 3 上久世遺跡 4 中久世遺跡・大
藪遺跡・長岡京跡

図版26 円山古墳群・灰方古墳群

挿 図 目 次

01HR385		02RH51・53	
図1 調査位置図……………	3	図16 調査位置図……………	9
図2 遺構位置図……………	3	図17 No.1・2 地点遺構位置図……………	9
図3 No.2 地点遺構断面図……………	4	図18 No.3 地点遺構位置図……………	10
図4 No.1・3 地点柱状断面図……………	4	図19 No.1～4 地点遺構断面図……………	10
図5 出土遺物実測図……………	4	図20 出土遺物実測図……………	11
図6 No.2 地点遺構断面……………	5	図21 土師器小型器台……………	11
02HR197		図22 土師器甕……………	11
図7 調査位置図……………	6	図23 No.1 地点竪穴住居……………	12
図8 No.3 地点遺構断面……………	6	図24 No.2 地点竪穴住居……………	12
図9 No.1・2 地点遺構位置図……………	7	図25 No.4 地点遺構断面……………	12
図10 No.3 地点遺構位置図……………	7	図26 No.5 地点遺構断面……………	12
図11 No.1 地点柱状、No.2・3 地点遺構断面図……………	7	00RT389	
図12 土師器杯実測図……………	8	図27 調査位置図……………	13
図13 軒平瓦拓影・実測図……………	8	図28 北壁断面略図……………	13
図14 土師器杯……………	8	図29 ビット2……………	14
図15 軒平瓦……………	8	図30 南階段保護の狀態……………	14

表 目 次

表1 立会調査件数……………	1
表2 年次別立会調査件数……………	1

I 調査概要

本報告は京都市文化市民局が(財)京都市埋蔵文化財研究所へ委託して実施した、文化庁国庫補助事業に伴う平成14年度の京都市内遺跡立会調査概要報告書である。本書では平成14年1月7日から3月29日までの平成13年度分と、同年4月1日から12月27日までの平成14年度分を合わせて報告する。調査件数は378件であり、平成13年度分が108件、平成14年度分が270件である。京都市内を便宜的に地区分けした調査件数は表1の通りである。

地区	13年度1~3月	14年度4~12月	小計	地区	13年度1~3月	14年度4~12月	小計
平安宮(HQ)	18	47	65	洛東地区(RT)	10	31	41
平安京左京(HL)	26	81	107	鳥羽地区(TB)	3	18	21
平安京右京(HR)	17	39	56	伏見・醍醐地区(FD)	9	12	21
洛北地区(RH)	8	13	21	長岡京地区(NG)	2	5	7
太秦地区(UZ)	4	8	12	南・桂地区(MK)	3	4	7
北白川地区(KS)	8	12	20	計	108	270	378

表1 立会調査件数

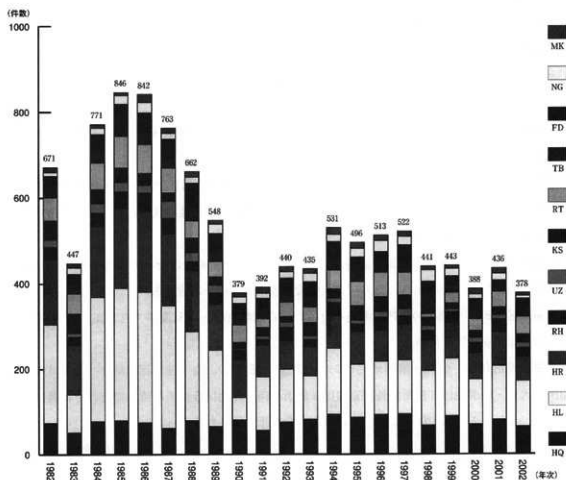


表2 年次別立会調査件数

昭和52年から京都市文化財保護課は市街地に重複する平安京跡の小・中規模開発に伴う有効な埋蔵文化財調査法として、試掘・立会調査を文化庁の国庫補助を得て実施してきた。初年度は試掘・立会を合わせ182件であったが、翌53年379件、54年596件と右肩上がりで調査件数は増加した。しかし昭和60年をピークに平成2年379件に底を打った後、500件前後の立会調査件数で推移してきたが、本年は平成2・3・12年とほぼ同数まで落ち込み378件となっている(表2)。本年の立会調査の原因別のおおまかな内訳は、店舗・事務所など基礎掘削が浅く工事面積の小規模な個人住宅などが189件で半数を占め、規模も広く掘削深度の深いマンション・ビルなどが79件、上下水道・ガス・学校グリーンベルト化・公園などの公共事業が102件、宅地造成などその他の工事が8件であった。

ここでは、本年の立会調査において知り得た新たな成果について以下概略を記す。

平安宮(HQ) 豊楽院(01HQ353)で緑釉瓦を採集した。また、朝堂院(02HQ124)で版築の可能性のある褐色砂泥層を検出した。

平安京左京(HL) 三条二坊十二町(02HL237)で縄文時代中期の土器を含む流れ堆積を、四条四坊六町(02HL162)では、古墳時代前期の遺物包含層を検出した。平安時代の遺構では四条三坊八町(02HL184)で柱穴を、九条二坊十一町(01HL208)で油小路西側溝の可能性のある包含層を検出した。

平安京右京(HR) 右京域では五条三坊二町(01HR385)、七条一坊五・六町(02HR197)の2件の概要を報告する。それ以外では、古墳時代の包含層を八条二坊十五町(02HR148)で検出している。時期不明であるが七条二坊二町(02HR3)で西大宮大路西側溝を推定線上で検出している。

洛北地区(RH) 7箇所(02RH51・53)の遺跡で調査を行った。植物園北遺跡(02RH51・53)で古墳時代の竪穴住居を検出したので報告する。

太楽地区(UZ) 9箇所(01UZ325)の遺跡で調査を行った。多藪町遺跡(01UZ325)で飛鳥時代の遺物包含層を検出している。法金剛院境内(02UZ233)では時期不明の池の底部とピットを検出している。法金剛院に関連する遺構と考えられる。

洛東地区(RT) 10箇所(00RT389)の遺跡で調査を行った。今年度の調査ではないが法住寺殿跡・六波羅政庁跡(00RT389)で検出された方広寺大仏殿根固めの遺構を報告する。

鳥羽地区(TB) 8箇所(02TB67)の遺跡で調査を行った。鳥羽離宮跡・鳥羽遺跡(02TB67)で平安時代中期の包含層を検出している。

北白川地区(KS)、伏見・醍醐地区(FD)、長岡京地区(NG)、南・桂地区(MK) 北白川地区18箇所、伏見・醍醐地区5箇所、長岡京地区3箇所、南・桂地区5箇所の遺跡でそれぞれ調査を行ったが、これらの地区では概要報告を行うような成果は得られなかった。

(菅田 薫・吉本健吾)

II 平安京跡

1 平安京右京五条三坊二町 (01HR385)

調査経過 (図1)

右京区西院北矢掛町11-1番地の住宅建築に伴う調査である。条坊復元では平安京右京五条三坊二町に該当している。当町は北を綾小路(現綾小路通)、南を五条坊門小路(現仏光寺通)、東を道祖大路(現佐井通)、西を宇多小路(現佐井西通)に囲まれ、平安時代後期には『小泉荘』とよばれる荘園の一部となっている(『拾芥抄』西京図)。この荘園は鎌倉時代には近衛家領となり、1389年(康応元/元中六)寄進によって大徳寺如意庵領となる。

同町で実施された発掘調査では綾小路南築地の内溝が検出され、その下層から平安時代前期の一括遺物が出土している。

調査は2002年3月12日から18日まで3地点で行い、室町時代前期の落込、平安時代中期のピット、平安時代前期の包含層および整地層を検出した。

遺構・遺物 (図2～6)

No.1地点

現代盛土が約0.75m堆積し、盛土直下で厚さ0.15mの平安時代前期の包含層を検出した。遺物は土師器皿(細片)が出土している。-0.9mでオリーブ褐色砂泥の地山となる。

No.2地点

現代盛土が約0.8mの厚さで堆積する。盛土直下からは浅い落込を2箇所検出した。落込1は遺物の出土はなく、落込2からは室町時代前期の土師器皿が出土し、東側へ畝状に続く様相を呈している。但し、この落込遺構の性格につ

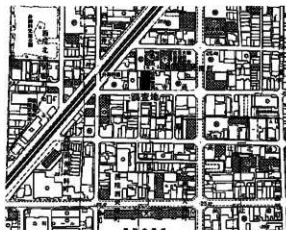


図1 調査位置図 (1:5,000)

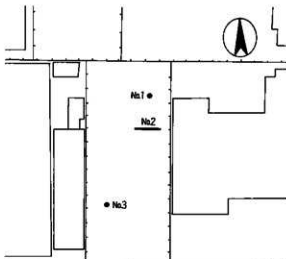


図2 遺構位置図 (1:500)

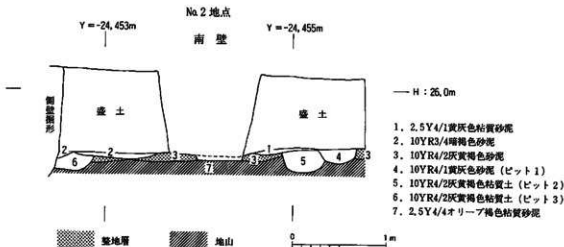


図3 Na.2地点遺構断面図(1:40)

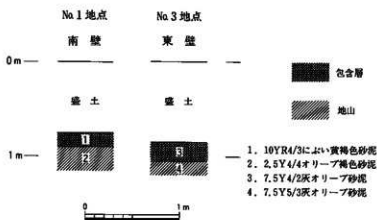


図4 No.1・3地点柱状断面図(1:40)



図5 出土遺物実測図(1:4) は推定幅0.5m、深さ0.17mで、平安時代中期(10世紀中葉)の土師器皿が出土した。ビット2および3は深さがほぼ同じレベルであり、埋土も共通している。間隔は2.5mである。ビットはいずれも柱痕は確認できなかった。

Na.3地点

-0.85mで炭が混じる包含層を確認したが、出土遺物は微細な土師器片であったため時期は特定できなかった。-1.05mで灰オリーブ砂泥の地山となる。

なお、出土した遺物のうち土師器片は実測不可能であったため、Na.2地点の整地層から出土した須恵器杯(図5)のみを実測した。

まとめ

地山直上に平安時代前期の須恵器を包含する整地層が覆っていることから、その時期には宅地として機能していたことが考えられる。しかし、平安時代後期の遺物の出土がないことから宅地

いては断面だけでは特定しがたい。

この下層からは南北に広がる整地層を検出した。平安時代前期の須恵器杯が出土している。この層を切つて、地山を掘り込んだビットを3基(ビット1~3)検出した。ビット1は幅0.4m、深さ0.15mで、平安時

代中期(10世紀末)の土師器皿が出土している。ビット2は推定幅0.5m、深さ0.24mである。遺物は検出されなかったがビット1に切られていることから時期差が認められる。ビット3

は短期間に廃絶したことが窺える。ビット2・3に関しては、その規模からみて一町における主要な建物ではなく掘立柱建物の柱穴と思われる。ビット1との切り合い関係から平安時代前期に造作されたものであろうと考えられる。また、ビット1についても前者と同じ性格の柱穴の一つであろう。落込1および2については限られた断面範囲からの判断はしがたいが、中世荘園の耕作に関連する遺構ではないかと考えている。

(堀内寛昭)

註1 伊藤 深「平安京右京五条三坊」『昭和63年度 京都市埋蔵文化財研究所調査概要』(財)京都市埋蔵文化財研究所 1993年



図6 No2地点遺構断面(北から)

2 平安京右京七条一坊五・六町 (02HR197)

調査経過 (図7)

下京区朱雀分木町～朱雀北ノ口町の水道工事に伴う調査である。調査地は条坊復元では平安京右京七条一坊五～六町にまたがった範囲である。北を七条坊門小路、南を七条大路、東を西坊城小路、西を皇嘉門大路に囲まれ、五町と六町の間に東西の北小路が通っている。

今回の調査地は中央卸売市場に関連した倉庫や商店が集中した地域であり、これまで12度にわたって立会調査が行われているが、顕著な遺構の検出成果はあがっていない。周辺

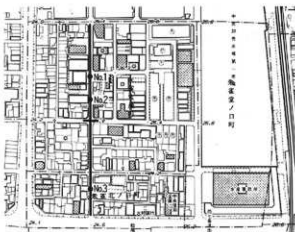


図7 調査位置図 (1:5,000)

での発掘調査からは、平安時代前期の皇嘉門大路東側溝および建物跡などが検出されている。また隣接する京都市中央卸売市場第一市場の発掘調査では、鴻臚館に葬かれていた可能性が極めて高いとされる軒瓦が約400点出土している。調査は2002年9月18日から10月16日まで行い、3地点から室町時代前期の落込、平安時代前期の落込および包含層を検出した。

遺構 (図8～11)

No.1 地点

-0.49mで包含層を確認した。平安時代とみられる平瓦が出土している。

No.2 地点

-0.52mで落込を検出した。幅0.8m以上、深さ0.34m以上の規模をもつが、両側を攪乱墳で破壊されており全容は不明である。平安時代前期の土師器杯、軒平瓦・丸瓦・平瓦が出土している。

No.3 地点

-0.52mで平安時代前期の土師器を包含する層を検出した。この包含層を掘り込んで、幅1.1m、深さ0.12mの落込を検出した。この落込から細片ではあるが室町時代前期の土師器皿、瓦器碗が出土している。-0.7m以下は暗褐色粘質砂泥の地山となる。



図8 No.3 地点遺構断面 (東から)

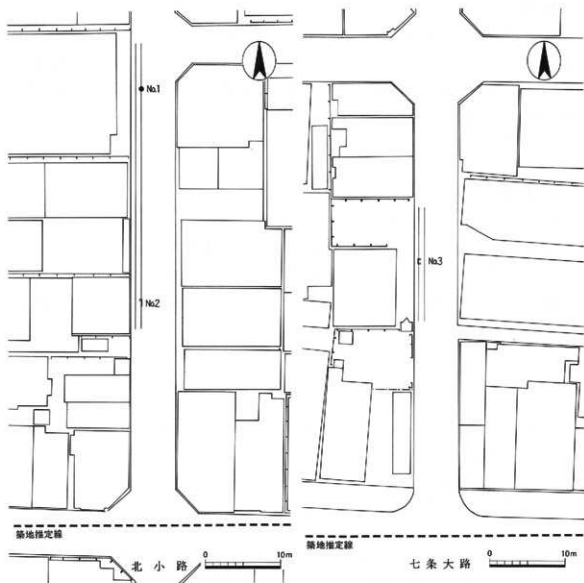


図9 No.1・2地点遺構位置図(1:500)

図10 No.3地点遺構位置図(1:500)

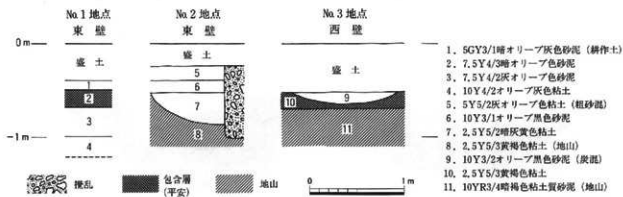


図11 No.1地点柱状、No.2・3地点遺構断面図(1:40)

遺物 (図12~15)

(1) 土師器杯。口径16.0cm、器高2.8~3.0cm、最大器厚3.5mmである。胎土は緻密で良好、焼成は軟質でにぶい黄橙色を呈し、器表は荒れ気味で薄く剥離している。成形は低部から体部外面はオサエ、その後ろに粗いナデ調整を施す。口縁部は横方向にナデつけて調整後に体部内面を横方向にナデ調整を施す。破片の接合で約4分の1が残る。

(2) 均整唐草文軒平瓦。胎土は精良で砂粒が少なく堅緻である。焼成は硬く表面は灰色、内面は淡褐色を呈する。

まとめ

今回の調査では、室町時代前期の落込、平安時代前期の包含層および落込を検出した。しかしながら五・六町は、これまで発掘調査の実施例が少なく、全体を把握できるような成果は得られていない。したがって今回検出した遺構も性格を特定するには至らなかった。均整唐草文軒平瓦の出土については、当地に建物の所在を推定することもできるが、あるいは西鴻臚館の廃絶に関連したものという可能性も一考しておきたい。

(堀内寛昭)

註1 本弥八郎・菅田 薫「右京七条一坊」『平安京跡発掘調査概報』昭和58年度 京都市文化観光局 1984年

菅田 薫・本弥八郎「右京七条一坊」『昭和58年度 京都市埋蔵文化財調査概要』(財)京都市埋蔵文化財研究所 1985年

註2 平田 泰・吉川義彦・菅田 薫「右京七条一坊」『昭和57年度 京都市埋蔵文化財調査概要』(財)京都市埋蔵文化財研究所 1984年



図12 土師器杯実測図 (1:4)

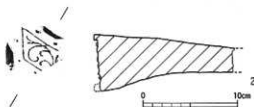


図13 軒平瓦拓影・実測図 (1:4)



図14 土師器杯(1)

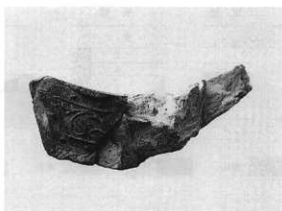


図15 軒平瓦(2)

III その他の遺跡

1 植物園北遺跡 (02RH51・53)

調査経過 (図16)

左京区下鴨水口町のガス低圧管移設および水道工事に伴う調査である。周辺の発掘調査では、平成2年度に北区上賀茂松本町98番地 (FM京都) で、古墳時代前期の竪穴住居9棟と平安時代後期の掘立柱建物などを検出している。また立会調査においても、平成11年度にこの南側マンション建設地から竪穴住居2棟を確認している。

調査は、2002年5月13日から6月7日 (02RH51・ガス工事)、5月16日から9月5日 (02RH53・水道工事) まで行い、5地点で古墳時代の竪穴住居と考えられる遺構を検出した。

遺構 (図17～19・23～26)

Na1地点

-0.29mで灰黄褐色砂泥の地山を掘り込んだ幅1.38m以上、深さ0.36mを測る遺構を検出した。東側底部に壁溝とみられる落込が認められ、埋土下層から古墳時代前期の土師器甕・鉢・器台が出土していることから、古墳時代前期の竪穴住居と考えられる。

Na2地点

-0.32mで幅1.9m、深さ0.18mの地山を掘り込んだ遺構を検出した。遺物は出土しなかったが、東側に壁溝とみられる落ちが認められることから竪穴住居と考えられる。Na1地点で検出した竪穴住居に近接しているため同一遺構と考えることができるが、床面の高さが0.12m異なることから、建て替えられた別の竪穴住居とも考えられる。

Na3地点

-0.28mで東端に壁溝をもつ幅2.5m、深さ0.24mの地山を掘り込んだ遺構を検出した。埋土下層から古墳時代前期の土師器甕 (小破片1点) が出土した。断面図は略測である。

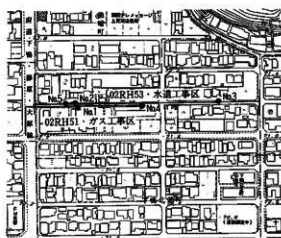


図16 調査位置図 (1:5,000)

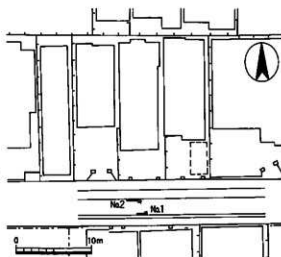


図17 Na1・2地点遺構位置図 (1:500)

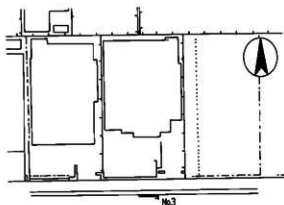


図18 No.3地点遺構位置図 (1:500)

No.4地点

-0.29~0.65mの層で古墳時代前期の土師器甕が出土した。柱状実測図であるため遺構の性格は断定できないが、遺物年代および埋土状況などから竪穴住居と考えられる。

No.5地点

北壁断面において幅1.3m、深さ0.2mの土壇状の遺構を確認した。ただし水道工事の埋め戻し途中のため精査ができず写真記録のみである。目視観察によるものであるが同一道路内において検出した竪穴住居の層序および埋土が共通し

ているようにみられることから、当遺構も竪穴住居と考えている。

遺物 (図20~22)

(1)は土師器小型器台でNo.1地点から出土した。胎土はやや粗く、直径1mm前後の石粒(石英・チャートが多く、クサレ礫・雲母が極少量)を多く含み、浅黄褐色を呈する。焼成は軟質で

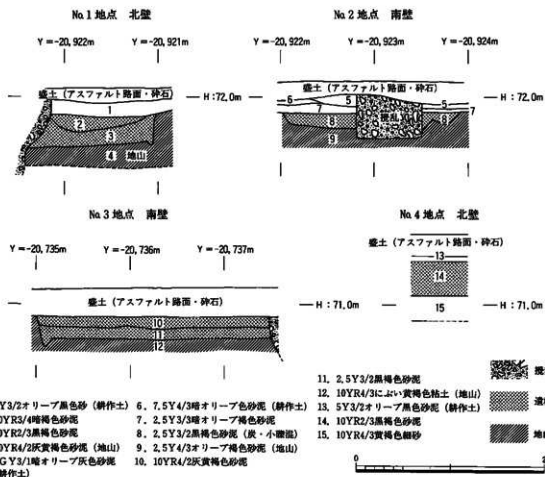


図19 No.1~4地点遺構断面図 (1:40)

ある。全体に著しく磨滅しているため調整等は不明瞭だが、外面は縦方向にヘラミガキ、内面は横ナデ調整がわずかに確認できる。脚部の三方向に2穴一組の透孔がある。

(2)は土師器甕でNo.4地点から出土した。胎土はやや粗く、直径2mm以下の石粒(石英・長石・チャート・クサレ礫)を多く含み、淡黄色を呈する。焼成は良好で堅緻である。外面のほぼ全面にヌスカ付着している。口縁部外面から頸部クビレにかけては強い横ナデ、クビレ直下は横方向のヘラケズリ、体部上面は横ハケメ、体部下面は縦～斜め方向のハケメ調整を施す。口縁部内面は横ナデ、体部内面は横ケズリである。内面は横方向のヘラケズリを施すが、この調整の後に右下から左上へのナデ上げが一部認められる。形態・胎土から山陰地方からの搬入品とみられる。

まとめ

今回の調査では5箇所で古墳時代の竪穴住居の断面と考える遺構を検出した。そのうちの3箇所は、出土遺物の年代から古墳時代前期と考えられる。これらは平成2年度および平成11年度調査で検出された古墳時代の集落の一群とみられ、周辺のさらなる発掘調査が望まれる。

なお、今回の立会調査では工事の進捗と折り合わず、遺構を精査することのできないことが多かった。従って一部の遺構については、柱状実測・略測、写真のみの記録に留まっている。

(堀内寛昭)

註1 高橋 潔「植物園北遺跡」『平成2年度 京都市埋蔵文化財調査概要』(財)京都市埋蔵文化財研究所 1994年

註2 吉本健吾・竜子正彦「植物園北遺跡」『京都市内遺跡立会調査概報』平成11年度 京都市文化市民局 2000年

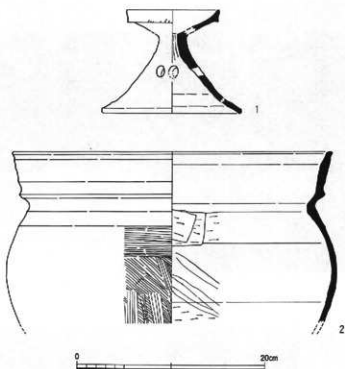


図20 出土遺物実測図(1:4)



図21 土師器小型器台(1)



図22 土師器甕(2)



図23 No.1 地点竪穴住居 (南から)



図24 No.2 地点竪穴住居 (北から)

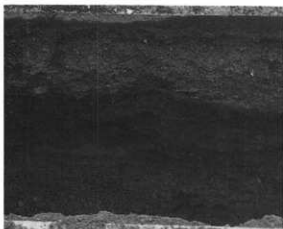


図25 No.4 地点遺構断面 (南から)



図26 No.5 地点遺構断面 (南から)

2 法住寺殿跡、六波羅政庁跡 (00RT389)

調査経過 (図27)

当地は平成12年に緑地公園整備に伴い試掘調査を実施している。その結果、方広寺大仏殿の礎石根固め跡、花崗岩四半敷、大仏の台座、基壇南側の階段など多くの成果を得て遺構を全面保存した。しかし公園整備に伴いフェンス・擁壁、進入路など、一部掘削を伴う工事が行われることから立会調査を実施した。調査は2001年3月23日に行ったが整地作業など最終的に5月14日に終了している。また、基壇南の階段部分など遺構保護の確認も行った。

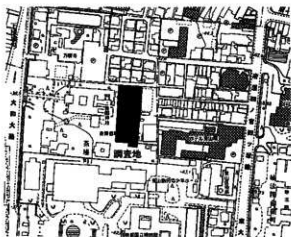


図27 調査位置図 (1 : 5,000)

なお、当調査の報告は平成13年度京都市内立会調査概報において報告するものであったが、石仏類の整理などから、本年度概報で報告する。

遺構 (図28~30)

敷地北側擁壁工事で土壌を2基、断面で確認した。掘削地点の基本層序は現道路側溝のコンクリート直下に、第1層黄色粘土層が0.2mの層厚であり、第2層灰黄色砂泥層が0.24m、第3層暗茶褐色砂泥層が堆積する。1層黄色粘土層は方広寺大仏殿創建に伴う整地層とみられ、2層灰黄色砂泥層からの出土遺物は確認していない。また3層暗茶褐色砂泥層からは土師器皿が出土しており、室町時代の包含層とみられる。地山とみられる層は確認していない。

遺構は第1層黄色粘土層を掘り込んで成立している。ピット1は上面の幅2.8m、深さ0.7m以

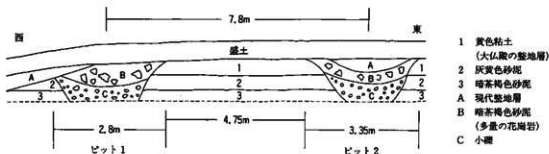


図28 北壁断面略図

上ある。ビット2は上面の幅3.35m、深さ0.7m以上でともに、上層には花崗岩片が多量に含まれ、下層には径5～10cmの玉石が多量に認められた。ビット1とビット2の心々間距離は約7.8mある。これらは試掘調査の成果からみて、方広寺大仏殿の礎石据え付け跡とみられる。

遺物

石製品および第3層暗茶褐色砂泥層から室町時代後期の土師器皿の小片が出土している。石製品は掘削工事に伴い出土したもので、どのような遺構に伴っていたかは不明であるが、断面観察では礎石据え付け跡上層に多量の花崗岩片を包含することからみて、礎石据え付け跡の出土であろう。一石五輪塔・五輪塔などの供養塔婆が73石、石仏が12石、墓石が46石あった。石材は大半が花崗岩で墓石には砂岩もある。

まとめ

礎石据え付け跡は試掘調査の成果から、方広寺大仏殿（桁行11間・梁行7間）の南柱列から9間目、西から4・5間目の柱に比定できる。この柱列は須弥壇の北側一列目に当たり、試掘調査の成果から試みられた方広寺大仏殿復元の資料をより補強する成果を得た。

(菅田 薫)



図29 ビット2（南東から）



図30 南階段保護の状態（南から）

調査一覧表

I 2002年 1～3月期 (平成13年度)

平安宮 (HQ)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
大 塚 省	上・七本松通中立売下る東入三軒町71	3/14・5・7	-0.6m以下、黄褐色粘土の地山。	HQ374	1
大 塚 省	上・仁和寺街道六軒町西入四番町121-2	3/13-14	-0.35mまで現代盛土。	HQ386	1
大 塚 省	上・浄福寺通一条下る東西後屋町167-6	1/25・28-31	-0.3mまで現代盛土。	HQ322	1
主 殿 寮	上・裏門通一条下る今新在家町205-17	2/12-13	-0.36mで褐色砂泥、-0.5mで暗褐色砂礫を抽出。	HQ351	1
宴 松 原	中・築紫通西町64-13	3/29, 4/1	-0.25mまで現代盛土。	HQ405	1
織 殿 寮	上・上長者町通浄福寺西入新御馬場町531	3/22, 7/23	蒸留時、工事終了。	HQ397	1
左 近 衛 府	上・松屋町通下長者町上る西蔵巳町115	3/4	-0.4mまで現代盛土。	HQ376	1
内 務	上・出水通千本東入四神町346-8	3/12	-0.26m、包含層と考えられる炭色の暗オリーブ褐色砂泥 (粘質) を抽出。	HQ387	1
右 兵 衛 府	上・下立先通御前東入西東町342-1	1/31	-0.25mまで現代盛土。	HQ333	1
造 御 司	中・築紫通松下町11-22	3/4	蒸留時、工事終了。	HQ377	1
左馬寮・右馬寮	中・御前通、丸太町通一押小路通 地内	01/11/5-02/3/7	No 1 : -0.8m以下、黄灰色砂礫の地山。No 2 : -0.95m以下、明黄褐色砂礫の地山。No 3 : -0.98m以下、灰白色微砂の地山。No 11 : -0.7m、時期不明の包含層 (粘入青磁)。No 12 : -0.75m以下、黄褐色細砂の地山。No 13 : -0.55m以下、にぶい黄褐色砂礫の地山。	HQ242	1
典 義 寮	中・西ノ京車坂町1-17	3/20	-0.21mまで現代盛土。	HQ395	1
豊 楽 院	中・築紫通西町104-2	1/22-24	-0.3mまで現代盛土。	HQ319	1
豊 楽 院	中・築紫通西町90	2/14-22	No 2 : +0.27m、厚さ0.32mのやや締まったにぶい黄褐色粘質土層。この層は調査地東端より22mの地点でさかっていく。この層は盛土層とみられる。-0.1m以下、小礫粗砂 (褐色粘質土混) の地山。No 3 : -0.05m、平安の暗褐色砂泥の盛土層 (瓦)。表探で録録瓦。	HQ353	1
御堂院・内倉人・主水司・大膳職	中・築紫通東町一上・丸太町通堀川西丸太町 地先	2/21-27	-1.64m以下、オリーブ褐色砂泥の地山。	HQ362	1・2
宮 内 省	上・竹屋町通千本東入主殿町1118-1	2/18-19	-0.2mまで現代盛土。	HQ359	1
御 井	中・西ノ京車坂町11	3/6-19	-0.3mまで現代盛土。	HQ378	1
神 祇 官	上・日暮通丸太町下る西町目802-28	2/25-27	-0.35m、江戸末期の路面 (土師器混)。	HQ367	1

平安京左京 (HL)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
北辺三坊 五町	上・鳥丸通一条下る電筒町590, 407-1	3/12-8/8	No 1 : -1.05m、平安後期の包含層 (土師器混、灰粘陶器混)。No 3 : -1.22m、室町中期の包含層 (土師器混)。No 4 : -1.33m、室町後期の包含層 (土師器混、土製鉢)。-1.7m、鎌倉末期～室町初期の包含層 (土師器混、磁石)。No 5 : -0.99m、桃山の包含層 (土師器混)。	HL383	3
北辺四坊 三町	上・京都御苑	2/27	-0.9m、江戸後期の包含層。	HL371	3
北辺四坊 五町	上・京都御苑 3	2/26	-0.55m、江戸前期の包含層 (土師器混)。-0.68mで褐灰色砂礫層を抽出。路面の可能性ある。-1.53m以下、褐色砂礫の地山。	HL406	3
一条二坊 九町	上・東堀川通上長者町下る二町目22-9-25	2/15-26		HL355	2
一条四坊 九町	上・京都御苑 3	2/25-3/8	No 1 : -1.8mまで旧噴泉の堰土。No 2 : -1.5mまで旧噴泉の堰土。	HL368	3
二条三坊十一町	中・鳥丸通丸川上る少将井町227, 227-1	2/7-8	-0.38mまで現代盛土。	HL340	3
三条二坊十一町	中・錦小路通堀川東入藤治町152地	01/11/15-02/1/7	No 2 : -1.02m、江戸前期の包含層 (土師器混、肥前系陶器混)。-1.26m、江戸初期の包含層 (土師器混、肥前系陶器混)。No 3 : -0.85m、鎌倉～室町中期の土壌 (土師器混、瓦質土、磁鉢)。	HL266	2

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
三糸三坊十一町	中・室町通御地下る円福寺町342-3	1/17~30	平安中～後期の井戸(土師器皿、須恵器壺、埴輪陶器壺)。No 4 : -0.65m、江戸前期の包含層(土師器皿、志野皿・肥前系陶器碗、埴輪陶器壺)。-1.0m、室町末期～江戸初期の土壌(土師器皿、瓦質穴鉢、埴輪陶器壺、灰釉陶器平碗、織部碗)。No 5 : -1.18m、平安中期の包含層(土師器皿)。		
三糸三坊十五町	中・御池通東洞院西人仲保利町180他	2/21	-1.25mまで現代盛土。	HL316	3
三糸四坊 一町	中・東洞院通押小路上の瓦之町390、 間之町通押小路上の鶴屋町481-1-5	2/28~3/6	-0.96m、室町中期の包含層(土師器皿)。-1.3m、時期不明の包含層(土師器皿)。	HL361	3
三糸四坊 一町	中・高倉通御地下る御所八幡町～ 高倉通竹屋町下る福屋町 地先	01/11/15～ 02/1/11	No 1 : -0.17m、江戸後～末期の包含層(肥前系磁器鉢付皿・蓋・青磁碗、美濃瀬戸系碗、丹波磁鉢)。No 5 : -1.02m、鎌倉前期の包含層(土師器皿)。No 7 : -1.04m、平安中期の包含層(土師器皿)。	HL372	3
三糸四坊 三町	中・東洞院通御地下る菅屋町442	2/6~22	No 2 : -1.6m、褐色砂泥(礫混)の地山を切って室町中期の井戸(土師器皿、漆片、灰白色無釉陶器、朝鮮半島系陶器破片、瓦)。No 3 : -1.64m、室町中期の包含層を切って室町後～末期の井戸(土師器皿、肥前系陶器碗、埴輪陶器壺)。No 1 : -2.2m、室町中期の包含層(土師器皿)。No 2 : -1.37m、室町中期の包含層(土師器皿、瓦器碗)。-1.85m、時期不明の包含層(瓦)。	HL337	3
三糸四坊 十町	中・高小路通押小路下る守山町177-1	3/7-8-12	No 6 : -0.7～-1.35mまで遺地状堆積。No 10 : -1.2m以下、褐色砂泥の地山。	HL379	3
四糸一坊十六町	中・大宮通、御池通～四糸通 地内	01/11/12～ 02/2/13	-2.65mまで既存基礎。	HL258	2・4
四糸二坊 四町	下・四糸通大宮東入立中町495、497	1/29	-0.35mまで現代盛土。	HL331	4
四糸二坊十三町	中・徳小路通押小路東入立中町494、495-1-2	1/28-29	-1.31mまで現代盛土。	HL327	4
四糸二坊十四町	中・増尾通押小路東入元本能寺南町 本能小学校	1/10	-1.31mまで現代盛土。	HL312	4
四糸三坊 二町	中・六角通新町西入六角町102-2他	2/21	-0.64mまで現代盛土。	HL360	5
五糸三坊 七町	下・仏光寺通新町東入永徳町224	2/8	返却中、工事終了。	HL346	5
五糸三坊十二町	下・室町通松原上る高辻町600他	3/28-4/8	-4.6mまで現代盛土。	HL401	5
六糸一坊十一町	下・中堂寺前田町39-1	3/22~4/1	-0.58m、鎌倉後期の包含層(土師器皿)。-0.82m以下、オリーブ褐色砂泥の地山。	HL396	4
六糸三坊十一町	下・諏訪町通五糸下る上原動町294-2-4-5	2/18-19-22	-1.8m、時期不明の湿地球堆積。-2.2m、時期不明の埋蔵地蔵。	HL357	5
六糸四坊 四町	下・高倉通五糸下る二丁目富屋町39他 六糸院公園	2/6-8	-1.0m、室町後期(土師器皿)から近世(枕瓦)の遺物を含んだ埋蔵堆積を抽出。	HL339	5
八糸四坊 七町	下・上之町	1/28	-0.6mまで現代盛土。	HL330	7
八糸四坊 十町	下・堀之町	1/7	-0.5m、近世の包含層。	HL310	7
九糸二坊十一町	南・西九糸春日町(一般国道1号線)	01/10/2～ 02/2/28	No 4 : -0.6m、平安末期～鎌倉の包含層(土師器皿)。地小路西側溝の可能性がある。No 5 : -0.73m以下、オリーブ灰色砂泥の地山。No 7 : -0.52m以下、ふよい質褐色粗砂の地山。No 8 : -0.5m以下、黒褐色砂泥(礫混)の地山。No 14 : -0.94m以下、褐色砂泥の地山。	HL208	6

平安京右京 (HR)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
一糸四坊 四町	右・花園木辻南町1-6	1/11-15-17	-0.97m以下、灰質褐色砂泥の地山。	HR315	8
三糸一坊 七町	中・西ノ京屋々池町12街区12 (41.41-1-3.44-2)	1/25~31	No 1 : -0.75m以下、ふよい質褐色砂泥の地山。 No 2 : -1.3m以下、ふよい質褐色砂泥の地山。	HR323	9
三糸一坊十二町	中・西ノ京屋々池町1-8	3/19-20-25	No 1 : -1.06～-1.62mまで埋地状堆積3層、 -1.46mでは平安前～中期にかけての遺物(土	HR391	9

道 跡 名	所 在 地	調 査 日	調 査 概 要	調査№	図版
三条一坊十六町	中・御前通御小路通～三条通 地内	3/25～6/21	輝砂層・杯、須恵砂礫、瓦)を検出。No.2:-1.0～-1.28mまで3層に分かれる崖地状況。No.1の崖地とは時期が異なる。 No.8:-0.75m、平安の包含層(平瓦)。No.10:-0.97m、崖地状況。No.13:-0.86m以下、黄色粘土の地山。	HR399	9
三条二坊	中・西ノ京原町111-2	3/18～4/5	-0.7mまで現代盛土。	HR388	9
四条四坊 六町	右・山ノ内山ノ下町22 山ノ内小学校	1/28,2/1	-0.4mまで現代盛土。	HR326	10
四条四坊 六町	右・山ノ内山ノ下町24他	2/12-20	-1.36m以下、褐色粘土の地山。	HR349	10
五条一坊 九町	中・壬生高欄町 壬生公園	3/11～14	-0.65m以下、褐色砂礫の地山。	HR381	11
五条三坊 二町	右・西院北矢掛町11-1	3/12～14・18	No.1:-0.75m、平安前期の包含層(土師器Ⅱ)。 -0.9m以下、オリープ褐色砂泥の地山。No.2:-0.69m、平安前期の盛地層(須恵砂礫)。この層を切って平安中期のビット(土師器Ⅱ)。本文3ページ。	HR385	10
五条四坊 四町	右・西院清水町1の一部	2/7,4/23	-0.9mでオリープ黒色泥土の崖地状況を検出。	HR341	10
六条二坊 三町	下・西七条東御前町24他、赤社町20-1他	2/18-19	+0.75mまで現代盛土。	HR356	11
六条二坊 五町	下・西土屋通、五条通～西高瀬川 地内	3/25～4/10	-0.38m、時期不明の湧状遺構(土製品)。	HR400	11
六条二坊十二町	右・下・西大路通西側、中堂寺通～七条通 地内	01/12/6～02/2/27	-0.81mで褐色色砂泥を検出。	HR294	11-13
七条三坊 七町	右・下、佐井西通、五条通～七条通 地内	3/18～5/20	-1.4mまで現代盛土。	HR390	10-12
八条二坊 四町	下・橋小路西中町105	2/21	高麗時、工事跡。	HR363	13
八条四坊十六町	右・西京福南方町39	1/24-25-28	-0.45m以下、ふいふ黄褐色砂泥の地山。	HR321	12
九条三坊 八町	南・吉神院西ノ庄通ノ西町15 西ノ庄公園	2/13	-1.2m以下、氾濫堆積層。	HR352	12

洛北地区 (RH)

道 跡 名	所 在 地	調 査 日	調 査 概 要	調査№	図版
植物園北遺跡	左・下鴨水口町39-1の一部、39-2の一部	01/12/18～02/2/25	-0.4m、黄灰色粘土質砂泥の耕作土。	RH306	14-1
植物園北遺跡	北・上賀茂豊田町100-1、上賀茂本町100-7 地内	1/31～5/10	-1.9m以下、ふいふ黄褐色砂礫の地山。	RH332	14-1
植物園北遺跡	北・上賀茂鳥帽子ヶ原内町34 鳥帽子公園	2/8	-1.07m以下、褐色砂泥の地山。	RH345	14-1
北野遺跡	北・北野上白梅町～北野下白梅町 地内	1/7～4/5	-0.49m、室町中期の包含層(土師器Ⅱ)。	RH311	16-3
北野遺跡	北・北野下白梅町54-4-9	2/6	-0.37mまで現代盛土。	RH336	16-3
岩倉忠在地遺跡	左・岩倉忠在地町309 洛北中学校	2/4～15	-0.6m以下、ふいふ黄褐色砂礫の地山。	RH334	16-1
岩倉忠在地遺跡	左・岩倉忠在地町309 洛北中学校	2/4～15	-0.8m以下、褐色砂泥の地山。	RH335	16-1
岩倉忠在地遺跡	左・岩倉忠在地町 地内 岩倉東公園(予定地)	2/22	-1.62m、古墳前期の包含層(土師器Ⅱ・壺・鉢・高杯)。	RH365	16-1

太秦地区 (UZ)

道 跡 名	所 在 地	調 査 日	調 査 概 要	調査№	図版
御堂ヶ池古墳群	右・梅ヶ畑向ノ地町 地内	3/11～5/9	-0.5m以下、岩盤を検出。	UZ382	14-2
草木町遺跡	右・太秦京ノ道町11-5の一部	3/22	+0.9mで包含層と思われる黒褐色砂泥を検出。	UZ398	15
御所ノ内町遺跡	右・嵯峨野秋道町1-21	2/21-22	-0.6m、室町中期の包含層(土師器Ⅱ)。	UZ364	14-3
多敷町遺跡	右・太秦多敷町14-144 太秦中学校	1/28～2/12	-0.33m、飛鳥の包含層(土師器Ⅱ、須恵砂礫)。	UZ325	15

北白川地区 (KS)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
法成寺跡	上・広小路通、寺町通～河原町通 地内	1/10-17-18	№3：-0.77mで花壇堆積層の灰黄褐色砂礫層を抽出。№4：-0.66mで花壇堆積層の黒褐色砂礫を抽出。	KS314	16-6
北白川興寺	左・北白川山田町63-3	3/28	-0.05m以下、灰オリーブ色泥砂の地山。	KS403	16-4
北白川通分町 興文遺跡・ 京都大学 北部橋内遺跡	左・北白川西町1-1,7,6	3/20-25	-0.16mまで現代盛土。	KS394	17
京都大学 西部橋内遺跡	左・吉田中阿達町一牛ノ宮町 地先	01/11/27～ 02/3/5	-0.63mで花壇堆積の砂礫層を抽出。	KS282	17
白河南殿跡	左・石原町280-25	3/8-12	-0.5m、近接の包含層。	KS380	17
白河北殿跡	左・聖蹟院河原町11-24	2/13-14	-0.3mで時期不明の黒褐色砂泥層を抽出。	KS350	17
岡崎遺跡・ 延勝寺跡	左・北門前町484、484-1	1/10-11	-0.75mで崖噴の面を抽出。	KS313	17
岡崎遺跡・ 法勝寺跡	左・岡崎天王町62-3	3/28-29	-0.3mまで現代盛土。	KS404	17

洛東地区 (RT)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
法観寺旧境内	東・下河原通高台寺塔ノ前上金園町390-1	2/27	-0.45m、笠町と考えられる龍泉座青磁を含む泥砂層を抽出。-1.17m以下、暗灰黄色微砂の地山。	RT370	18
六波羅政庁跡 隣接地	東・川端通、万寿寺東入西河原町～松原東 入二筋目下る西御門町 地先	2/15～3/25	№6：-0.43m、時期不明の揚土。№7：-0.69m、時期不明の揚土。	RT354	18
法住寺殿跡	東・南瓦町～今熊野宝蔵町 地内	3/20-22	-1.3mまで現代盛土。	RT393	18
法住寺殿跡・ 六波羅政庁跡	東・茶屋町527	01/11/12～ 02/4/15	近世盛土より方広寺觀石、大瓦片、肥前系磁器染付鉢、信楽鉄胎陶器出土。	RT253	18
法住寺殿跡・ 六波羅政庁跡	東・茶屋町527	1/22～3/7	-0.6m、江戸と考えられる整地層を抽出。	RT320	18
山科本願寺跡	山・西野阿弥沢町1-7他	2/25	-0.7mまで現代盛土。	RT366	19-1
中 臣 遺 跡	山・勤修寺西栗栖野町他8ヵ所 地内	01/6/18～ 02/5/8	№6：-0.8mで黒褐色砂泥を抽出。№7：-0.43m以下、にょい黄褐色粘土の地山。№9：-0.47m以下、黄褐色粘土の地山。№15：-1.62m以下、オリーブ褐色砂泥の地山。	RT087	19-4
中 臣 遺 跡	山・東野舞台町52-6	1/28-31	-0.12mまで現代盛土。	RT329	19-4
中 臣 遺 跡	山・勤修寺東栗栖野町42 勤修小学校	2/7～25	№1：-0.37mで地山を切って時期不明のピット(土師器)。№2：0m、時期不明の包含層。	RT342	19-4
中 臣 遺 跡	山・栗栖野華ノ本町27-2	3/12	-0.33mで黒褐色砂泥を抽出。-0.4m以下、褐色砂泥の地山。	RT384	19-4

鳥羽地区 (TB)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
鳥羽離宮跡	伏・中鳥羽所ノ内町34の一部	2/12-13	-0.17mまで現代盛土。	TB348	20
鳥羽離宮跡	伏・中鳥羽ノ山町53	2/18	-0.3mまで現代盛土。	TB358	20
鳥羽離宮跡	伏・中鳥羽原田町4-22	3/1	-0.3mまで現代盛土。	TB373	20

伏見・醍醐地区 (FD)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査№	図版
日野谷寺町遺跡	伏・日野谷寺町78 日野小学校	2/8-12	-0.35mまで現代盛土。	FD344	19-5
伏見城跡	伏・桃山長岡地中南町95 長岡児童公園	1/18	-0.2mまで現代盛土。	FD317	22
伏見城跡	伏・風呂屋町275	1/25-28-29	-1.07m、江戸末期の溜地状堆積。	FD324	22
伏見城跡	伏・桃山水野左近東町19 桃山中学校	1/28-5/10	-1.8m、近世の包含層。	FD328	22
伏見城跡	伏・今町657-2-3, 658-1-2, 昔中町628-1, 633, 655	2/6-22-25	-0.32m、江戸後～末期の土境。	FD338	22
伏見城跡	伏・今町676-15	2/8-12	-0.3mまで現代盛土。	FD343	22
伏見城跡	伏・深草中ノ島町21の一部、22の一部	2/26-27	-0.36m、江戸末期の包含層。	FD369	22
伏見城跡	伏・桃山長岡地中南町55, 56-1, 62-1	3/28-4/10	-0.15m以下、明褐色砂泥の地山。	FD402	22
向島城跡	伏・向島本丸町7-1	2/12	-0.82m、橙色粗砂の肥後堆積。	FD347	21-4

長岡京地区 (NG)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査№	図版
左京三条三坊十三・十四町、四坊三・四町	伏・久我西出町 地先	3/19-25	-0.8mまで現代盛土。	NG392	24
左京三条三坊十三町	伏・久我西出町12-6他	3/4	-1.38m、中世の包含層(瓦跡)。	NG375	24

南・桂地区 (MK)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査№	図版
中久世遺跡	南・久世中久世町三丁目62-2	3/18, 5/9	運廻時、工事終了。	MK389	25-4
四山古墳群	西・大原野石作町2804, 2806	01/12/17~02/4/15	対象地区は掘れ地境と現代盛土。	MK304	26
坂方古墳群	西・大原野坂方町、大原野石作町山地、大原野上野町	1/22-23	掘廻時、工事終了。	MK318	26

II 2002年 4～12月期 (平成14年度)

平安宮 (HQ)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
大 蔵 省	上・仁和寺街道六軒町西入西番町121-5-8-9	6/25-26	-0.18mまで現代盛土。	HQ092	1
大 蔵 省	上・千本通一糸下る西入西中筋町19-101	6/28	-0.2mまで現代盛土。	HQ099	1
大 蔵 省	上・千本通一糸下る西入西中筋町19-101	6/28	-0.3mまで現代盛土。	HQ180	1
大 蔵 省	上・千本通一糸下る西入西中筋町19-101	8/30	-0.4mまで現代盛土。	HQ176	1
主 殿 察	上・中立先通日暮東入新白丸町462-33-102	5/27-28	-0.35m、近世の包含層。	HQ060	1
右 近 衛 府	上・御前通下立東上る三丁目西上之町245-39	7/19	-0.2mまで現代盛土。	HQ128	1
東 松 原	上・下長者町通六軒町西入利生町294	6/28	掘削工事を行わず。	HQ097	1
東 松 原	上・下長者町通六軒町西入利生町294-161の一部	7/31, 8/1	-0.3mまで現代盛土。	HQ144	1
東 松 原	上・下長者町通六軒町西入利生町294-161の一部	7/31, 8/1	-0.3mまで現代盛土。	HQ145	1
東 松 原	上・下長者町通六軒町西入利生町294-161の一部	8/5-21・22	-0.25mまで現代盛土。	HQ152	1
東 松 原	上・六軒町通出水下る西入七番町328	10/10	-0.2mまで現代盛土。	HQ220	1
東 松 原	上・下長者町通七本松西入利生町294-51	6/21-25	-0.52mまで現代盛土。	HQ090	1
掃 部 寮	上・下長者町通六軒町西入利生町294-183	8/9	-0.6mまで現代盛土。	HQ158	1
掃 部 寮	上・下長者町通六軒町西入利生町294-161の一部	8/21・22	-0.2mまで現代盛土。	HQ171	1
掃 部 寮	上・下長者町通六軒町西入利生町294-184	8/21-22	-0.2mまで現代盛土。	HQ172	1
蔵 殿 寮	上・下長者町通千本東入二本松町12	8/19-21	-0.43m、江戸末期の包含層。	HQ165	1
左 近 衛 府	上・日暮通出水上る神口町158	8/7	-0.3m、江戸後・末期の整地層。	HQ157	1
左 近 衛 府	上・下長者町通松屋町西入西原巴町112, 112-6	11/6	-0.5mまで現代盛土。	HQ251	1
内 務 省	上・下立先通千本東入中巻町490-81	7/2・3-15-16	-0.3m、時期不明の整地層。	HQ106	1
内 務 省	上・千本通出水下る尾・崎横町354	4/15-18-22	-0.6m、江戸後期の包含層。	HQ011	1
造 酒 司	中・東楽通松下町11-26	11/7-8	No.1 ; -0.28m、近世の包含層。No.2 ; -0.23m、近世の包含層。	HQ254	1
内 匠 寮	上・御前通下立先下る下之町407-11	11/18-19	-0.38m、江戸末期の包含層(土葬跡)。	HQ263	1
内 匠 寮	中・西ノ京内町～西ノ京西鹿畑町 地先	7/22-26	巡回時、工事終了。	HQ129	1
内 匠 寮	中・西ノ京左馬寮町20-14	9/27-30	-0.3mまで現代盛土。	HQ206	1
左 馬 寮	中・西ノ京左馬寮町11-25	7/8	-0.2mまで現代盛土。	HQ111	1
典 薬 寮	中・西ノ京車坂町1-14	4/4-5	-0.2mまで現代盛土。	HQ004	1
典 薬 寮	中・西ノ京車坂町4-5-20	6/5-6	-0.1m、平安の整地層2。	HQ075	1
典 薬 寮	中・東楽通松下町2-9-10	10/7-9	-0.25mで、いよいよ黄褐色砂泥の地山を切って、時期不明の土質。	HQ217	1
典 薬 寮	中・西ノ京車坂町4-22	12/24	-0.2mまで現代盛土。	HQ295	1
豊 楽 院	中・東楽通西町187	4/8-10	-0.67m以下、現代盛土。	HQ009	1
豊 楽 院	中・東楽通中町59-3	4/24-26	-0.03m、時期不明の包含層。	HQ033	1
豊 楽 院	中・東楽通中町59-3	4/24-30	巡回時、工事終了。	HQ034	1
豊 楽 院	中・東楽通中町59-3	4/5-5/8	巡回時、工事終了。	HQ035	1
豊 楽 院	中・東楽通中町59-3	4/24-26	-0.03m、近代整地層。	HQ036	1
豊 楽 院	中・東楽通中町59-6	6/14	-0.15m、時期不明の包含層。	HQ083	1
豊 楽 院	中・東楽通中町59-6の一部、西町136-4の一部	7/11	掘削工事を行わず。	HQ117	1
豊 楽 院	中・東楽通西町136-10の一部	7/11	-0.35mまで現代盛土。	HQ118	1
豊 楽 院	中・東楽通中町59-10	7/19	-0.25mまで現代盛土。	HQ127	1
豊 楽 院	中・東楽通中町56-4、西町136-10	7/30	-0.2mまで現代盛土。	HQ142	1
豊 楽 院	中・東楽通中町40-19	4/19-22	-0.73mまで現代盛土。	HQ027	1
朝 堂 院	中・東楽通東町14-11	7/17	盛土直下、褐色砂泥層がみられるが、層基の可能性あり。平安前期とみられる黒色土器。	HQ124	1
宮 内 省	上・智恵光院通竹屋町上る東入主税町1234-1	4/18-19	-0.25m、時期不明の洗れ地盤。	HQ023	1
宮 内 省	上・竹屋町通千本東入主税町1236-1	4/30	巡回時、工事終了。	HQ039	1
治 部 省	中・西ノ京内堀町11-18	12/19	-0.2mまで現代盛土。	HQ292	1
式 部 省	中・西ノ京式部町 地先	9/26	-1.18mまで現代盛土。	HQ205	1
式 部 省 御 供 地	中・西ノ京小堀町2-32	7/8	-0.36m以下、いよいよ黄褐色砂泥(泥砂混)の地山。	HQ110	1
兵 部 省	中・西ノ京内堀町24-7	6/19-21	-0.6m以下、黄褐色砂泥の地山。	HQ089	1

平安京左京 (HL)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
北辺三坊 五町	上・一条通丸西入広橋殿町410	10/8~17	No 1 : -1.11m. 室町前期の包含層 (土師器Ⅲ). -1.3m. 鎌倉前期の包含層 (土師器Ⅲ. 灰輪陶器鉢・壺, 輸入白磁碗). No 2 : -0.96m. 江戸中~後期の包含層 (土師器Ⅲ. 焙烙鍋, 土製火鉢, 京焼黒須絵碗, 炭). -1.34m. 江戸前~中期の包含層 (土師器Ⅲ. 肥前系磁器染付碗, 焙烙鍋, 京焼白磁碗, 備前筒形鉢, 輸入青磁碗). -1.46m. 江戸前期の包含層 (土師器Ⅲ. 肥前系青磁碗, 灰輪陶器鉢).	HL219	3
北辺四坊 七町	上・京都御苑3 饗宴場跡地	6/14	-0.8mまで現代遺土。	HL084	3
一条三坊 五町	上・下立先通衣櫃東入東立先町~下立先通丸西入五町目町 地先	10/29~1/22	-0.98m. 室町中期の包含層 (土師器Ⅲ. 京焼赤須磁器鉢).	HL239	3
一条三坊 六町	上・室町通下立先上る勘解由小路町147. 149-1. 出水通室町西入出水町109	4/23~25	-1.25m. 江戸中期の包含層 (土師器Ⅲ).	HL032	3
一条四坊 九町	上・京都御苑	11/28~12/3	No 2 : -0.52m. 江戸中期の火災層 (土師器Ⅲ). -0.59m. 時期不明の発掘面。-0.7m. 時期不明の火災層。-0.88m. 江戸前期の包含層。-1.22m. 室町末期の包含層 (土師器Ⅲ. 瓦器風炉?). -0.3m. 近世の包含層。	HL273	3
二条二坊 一町	上・猪熊通丸太町上る水屋之町488-1	10/25-28	No 8 : -0.3m. 路面。No 11 : -0.55m. 路面。No 12 : -0.25m. 路面。-1.2m. 江戸前期の包含層 (土師器Ⅲ. 肥前系陶器鉢). No 15 : -0.8m. 室町後期の包含層 (土師器Ⅲ. 東海系須恵質鉢).	HL235	2
二条二坊 十町	中・押堀町池	7/11~11/21	No 16 : -0.7m. 室町後期の包含層 (土師器Ⅲ. 平瓦). No 19 : -0.94m. 江戸後期の包含層 (京焼系磁器, 硯).	HL116	2
二条二十六坊 一町	上・西洞院通丸太町上る奥川町392-1. 中・丸太町通油小路東入横堀池町115	4/9~12・16	No 1 : -1.36m. 室町末期の包含層 (土師器Ⅲ). No 3 : -1.38m. 江戸初期の包含層 (土師器Ⅲ. 肥前系陶器Ⅲ. 瓦器寸割形手鉢, 瓦器四方形火鉢, 焙烙鍋, 炭焼, 瓦).	HL010	2
二条三坊 五町	中・室町通二条上る冷泉町58	7/1・2・4・9	-2.15m. 鎌倉初期の包含層 (土師器Ⅲ). -2.8m以下. 暗褐色粘土質砂泥の地山。 -0.91~1.25m. 江戸後~末期の整地層 5。	HL101	3
二条三十六坊 一町	上・京都御苑3	6/3~6	No 3 : -1.26m. 平安後期の包含層 (土師器Ⅲ. 尾張瓦). No 4 : -2.03m. 江戸初期の包含層 (土師器Ⅲ. 肥前系陶器鉢, 瓦器鉢, 焙烙鍋).	HL073	3
二条四坊 十町	中・富小路通丸太町下る樹屋町1	4/15. 5/22~24	No 2 : -2.26m. 江戸前期の包含層 (土師器Ⅲ). No 3 : -2.3m. 江戸初期の包含層 (土師器Ⅲ. 摺鉢, 輸入白磁). No 4 : -2.58m. 鎌倉後期の壺を含む坑跡。No 5 : -2.2m. 室町前期の土壊 (土師器Ⅲ. 須恵質陶器).	HL020	3
二条四坊十二町	中・奥川通重小路西入後原町296. 296-1. 297. 富小路通二条上る鍛冶屋町368-1・3	6/12~21	No 1 : -1.18m. 室町前期の包含層 (土師器Ⅲ) を切って室町中期の土壊 (土師器Ⅲ). No 2 : -0.9m. 室町前期の包含層 (土師器Ⅲ).	HL080	3
二条四坊十四町	中・懸屋町通奥川上る管屋町467	12/10~12	No 3 : -0.52~0.72mまで江戸後~末期の路面。 No 4 : -0.15~0.86mまで6面に重層した路面。 No 5 : -0.4m. 江戸末期の路面。	HL284	3
三条二坊 九町	中・東横川通. 二条通~御池通 地内	4/10~5/15	No 2 : -0.96m. 室町末期の包含層 (土師器Ⅲ). No 3 : -0.62m. 平安中期の包含層 (土師器Ⅲ). No 4 : -0.59m. 平安後期の包含層 (土師器Ⅲ. 平瓦). -1.02m. 平安中期の包含層 (土師器Ⅲ). No 6 : -0.75m. 平安後期の包含層 (土師器Ⅲ. 鉢輪陶器). No 9 : -0.39m. 室町の包含層 (土師器Ⅲ). No 12 : -0.97m. 平安中期の包含層 (土師器Ⅲ. 盤脚部, 平瓦). No 15 : -1.0m. 平安後期の包含層 (土師器Ⅲ).	HL012	2
三条二坊 九町	中・二条通横川東入矢橋町~油小路通押小路下る押油小路町 地先	5/9~6/12		HL047	2

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
三条二坊 九町	中・東堀川通九太町東入丸太町～東堀川通御池上る押塚町 地先	6/3～7/24	№1：-0.3m、江戸末期の瓦葺大土壇（肥前系磁器鉢付襷・皿・仏飯椀、土瓶蓋、瀬戸系鉄輪蓋、京焼碗）。№10：-0.93m、室町の包含層（土師器皿・壺）。№13：-0.5m、室町の踏面（土師器皿、瓦）。№18：-0.65m、室町の包含層（土師器皿）。№19：-0.48m、室町の包含層（土師器皿、瓦）。	HL071	2
三条二坊 十町	中・御池通小川西入石橋町他	4/4～9/3	№2：-0.67m、室町中期の包含層（土師器皿）。-0.98m、室町前期の包含層（土師器皿）。№7：-1.03m、室町の包含層（土師器皿）。-1.17m、鎌倉の包含層（土師器皿）。	HL005	2
三条二坊十二町	中・東堀川通三条上る結東堀川町76	7/29～8/20	-0.48m、室町前期の包含層（土師器皿）。-0.88m、時期不明の流れ地盤。	HL139	2
三条二坊十二町	中・堀川通姉小路下る結東堀川町81-1-6	10/28～11/5	-1.0m、平安の包含層（土師器皿、灰輪陶器鉢）。	HL237	2
三条二坊十五町	中・御池通西院院押西院院町590-5	9/10～13	-1.2m、縄文中期の遺構を含む流れ地盤。	HL186	2
三条三坊 四町	中・釜屋通姉小路下る突抜町801-3能	4/15～24	-1.18m、鎌倉初期の包含層（土師器皿、須恵質焼締陶器鉢、輸入玉縁白磁碗）。-1.52m、平安中期の包含層（土師器皿）。	HL018	3
三条三坊 四町	中・三条通新町西入釜屋町28	5/30～6/12	№1：-1.4m、室町中～後期の包含層（土師器皿）。-1.7m、鎌倉後期の包含層（土師器皿、土師器鉢）。№2：-1.28m、室町の包含層（輸入白磁碗、平瓦）。-1.53m、室町の土壇（土師器皿）。	HL069	3
三条三坊 五町	中・新町通姉小路下る町願町98他	8/9～19	№1：-1.75m、平安末期の包含層（土師器皿、瓦器皿）。-2.1m、平安中～後期の包含層（土師器皿）。-2.25m、平安中期の包含層（土師器皿、平瓦）。№2：-2.0m、鎌倉末期の包含層（土師器皿）。№3：-0.5m、鎌倉初期の包含層（土師器皿、東播系須恵器鉢）。-1.2m、平安末期の包含層（土師器皿、瓦器皿、東播系須恵器鉢）。-1.9m、平安末期のピット（土師器皿、輸入青磁耳付口蓋）。-1.9m、平安後期の包含層（土師器皿、平瓦）。	HL159	3
三条三坊十一町	中・岡替町通姉小路上る龍地町425	5/1～13	№1：-1.18m、室町後期の包含層（土師器皿、天目碗、輸入青磁）。№2：-1.10m、室町前期の包含層（土師器皿、瓦器鉢、輸入青磁）。№3：-2.05m、鎌倉末期の包含層（土師器皿）。№4：-2.0m、室町中期の包含層（土師器皿）。№5：-2.45m、桃山の包含層（土師器皿、天目碗）。-2.65m、平安の包含層（灰輪陶器鉢、磁石）。	HL040	3
三条四坊 三町	中・岡之町通御池下る綿屋町536、538-1他	11/5	-1.13mまで現代盛土。	HL242	3
三条四坊 九町	中・富小路通二条下る後屋町182-1他	4/22～5/2	-1.55m、江戸中～後期の包含層。	HL028	3
三条四坊 十町	中・御池通富小路西入東八幡町585	7/9-16	-3.2mまで既存基礎。	HL114	3
三条四坊十三町	中・寺町通三条上る天性寺町540	5/27-28	№1：-1.2m、桃山の包含層（土師器皿）。№2：-0.96m、桃山の包含層（土師器皿）。	HL059	3
四条二坊 五町	中・錦堀川町 地内	9/10～10/11	-1.46mまで現代盛土。	HL185	4
四条二坊 八町	中・三条通堀川西入橋西町687	10/21～11/5	№1：-0.9m、平安後～末期の包含層（土師器皿・高杯、須恵器鉢・控鉢、瓦）。№2：-1.1m、鎌倉後期の包含層（土師器皿、須恵器鉢、緑釉陶器鉢、灰輪陶器鉢、輸入青磁皿・白磁鉢）。№2：-0.68m、鎌倉の包含層（輸入白磁碗）。-0.76m、平安末期の包含層（土師器皿）。-1.27m以下、暗褐色粘土の地山。№4：-1.27m、江戸前期の遺地状堆積（肥前系磁器鉢付襷、輸入青磁皿）。	HL229	4
四条二坊十二町	中・錦堀川町他 地内	7/2～24		HL105	4

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
四条二坊十四町	中・結東野通池小路東入元本能寺南町	5/7-6/5	No 1 : -1.53m, 室町中期の包含層 (土師器Ⅱ), No 2 : -1.05m, 鎌倉前期の埋地状堆積 (土師器Ⅱ), -1.5m, 平安後期の包含層 (土師器Ⅱ), No 3 : -1.6m, 時期不明の包含層 (平瓦, 鉄棒), No 5 : -1.05m, 江戸前期の包含層 (土師器Ⅱ, 焼締陶器Ⅱ, 輸入白磁Ⅱ), -1.45m, 平安後期の包含層 (土師器Ⅱ), -1.65m, 平安前-中期の包含層 (平瓦).	HL044	4
四条三坊 七町	中・六角通室町西入玉蔵町119-1	12/17・18・20	-0.35m, 江戸末期の包含層.	HL289	5
四条三坊 八町	中・室町通六角西入玉蔵町129-3	9/9-11	No 1 : -1.1m, 平安後期の包含層 (土師器Ⅱ, 須恵器), -1.5m以下, オリーブ色砂泥の地山, No 2 : -0.67m, 室町後期の包含層 (土師器Ⅱ, 灰釉陶器Ⅱ, 焼締陶器Ⅱ), -0.76m, 室町中期の包含層 (土師器Ⅱ, 焼締陶器Ⅱ, 輸入白磁Ⅱ, 土製品), -1.0m, 平安末期の包含層 (土師器Ⅱ), -1.04m, 平安後期の遺物 (土師器Ⅱ, 瓦) を含む柱穴. 断面を掘り進めると直径0.39mの柱当たりを検出.	HL184	5
四条三坊 十町	中・六角通丸西入骨屋町144.146.148	7/1-8/7	No 1 : -2.1m, 室町の包含層 (土師器Ⅱ), No 2 : -1.95m, 室町の包含層 (土師器Ⅱ).	HL093	5
四条三坊十一町	中・室町通納薬師下る山伏山町546-1	4/15-26	No 1 : -0.88m, 室町末期の土壌 (土師器Ⅱ), -0.94m, この土壌に切られて室町後期の土壌 (土師器Ⅱ, 焼締陶器Ⅱ), No 2 : -1.57m, 室町前期の包含層 (土師器Ⅱ, 焼締陶器Ⅱ), No 3 : -1.6m, 室町後期の井戸 (土師器Ⅱ, 瓦器Ⅱ).	HL017	5
四条四坊 三町	中・結東野通東洞院東入泉正寺町318	12/9-12	No 1 : -1.9m, 江戸前期の包含層 (土師器Ⅱ, 肥前系磁器染付Ⅱ, 総輪部Ⅱ, 青花), -2.34m, 桃山-江戸初期の包含層 (土師器Ⅱ, 志野Ⅱ), No 2 : -0.8m, 室町前期の土壌 (土師器Ⅱ).	HL282	5
四条四坊 四町	中・錦小路通東洞院東入西泉屋町599	5/29・30.6/4	-1.9m, 室町前期の包含層 (土師器Ⅱ).	HL065	5
四条四坊 五町	中・堺町通四条上八百屋町544	11/19	-1.3m, 近世の包含層.	HL166	5
四条四坊 五町	中・高倉通錦小高下る菅屋町587-1.589	7/9-11-12	No 1 : -0.83m, 時期不明の流れ堆積. No 2 : -0.9m, 時期不明の流れ堆積.	HL113	5
四条四坊 六町	中・御馬場通納薬師下る十文字町456	4/23-25	+0.1m, 江戸前期の包含層 (土師器Ⅱ, 総輪部Ⅱ), -0.1m, 室町末期の土壌 (土師器Ⅱ), -0.28m, 室町中期の土壌 (土師器Ⅱ). 土師器は置き合った状態であることから祭祀遺構の可能性. -0.15m, 室町中期の土壌 (土師器Ⅱ), この3基の土壌に切られて室町前期の包含層 (土師器Ⅱ).	HL029	5
四条四坊 六町	中・結東野通高倉東入雁金町362.高倉通錦小路上る貝屋町557	6/14-7/8	No 1 : -2.44m, 時期不明の流れ堆積. No 2 : -2.3m, 江戸後期の包含層.	HL085	5
四条四坊 六町	中・堺町通納薬師下る菅屋町514	8/12-9/19	No 1 : -2.2m, 古墳前期の包含層 (土師器Ⅱ), No 2 : -1.45m, 鎌倉中期の包含層 (土師器Ⅱ, 東瀬系須恵器Ⅱ).	HL162	5
四条四坊 七町	中・堺町通六角下る平屋町385	5/29-7/30	No 1 : -1.56m, 室町中期の包含層 (土師器Ⅱ), No 4 : -1.71m, 室町中期の包含層 (土師器Ⅱ, 常滑Ⅱ), -2.13m, 平安の包含層 (須恵器Ⅱ), No 5 : -2.16m, 時期不明の石積神井戸 (土師器Ⅱ), 北側の石は幅20-30cm, 高さ10-15cmの平らな石で8段確認. No 6 : -1.07m, 江戸前期の土壌 (瀬戸系美濃系白磁Ⅱ, 天目Ⅱ), この土壌に切られて江戸初期の土壌 (土師器Ⅱ, 青花, 肥前系陶器Ⅱ-Ⅲ, 丹波Ⅱ), No 7 : -0.23m, 鎌倉末-室町の包含層 (土師器Ⅱ, 瓦器Ⅱ, 常滑Ⅱ) を切って室町中期の土壌 (土師器Ⅱ, 常滑Ⅱ).	HL064	5

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査№	図説
四条四坊 八町	中・六角通高倉東入堀之上町116,118	10/17~28	-1.6m、室町中期の土壌(土師器Ⅱ、輸入白磁Ⅱ)。	HL226	5
四条四坊 十町	中・納葉師通富小路西入抽屋町128	12/13~18	-2.05m、桃山の包含層(土師器Ⅱ、瀬戸系鉄輪軸花皿)。	HL288	5
四条四坊十五町	中・寺町通六角下る式部町255	6/14-17-18	-0.95mまで現代盛土。	HL082	5
四条四坊十五町	中・寺町通六角下る式部町251,252,253	7/26-29	-1.4mまで現代盛土。	HL137	5
五条二坊 二町	下・墨町通綾小路下る塩屋町189	11/1-5	巡回時、工事終了。	HL241	4
五条二坊 八町	下・若上通五条下る住竹町398	11/11~14	№1:-1.23m、室町後期の包含層(土師器Ⅱ)。 №2:-1.83m、室町前期の包含層(土師器Ⅱ)。	HL257	4
五条二坊十一町	下・仏光寺通堀川東入要法寺町~ 仏光寺通袖小路西入風早町 地先	5/21~6/10	-1.2mまで現代盛土。	HL057	4
五条二坊十六町	下・綾小路通袖小路東入芦刈山町122-1	9/20~10/7	№1:-0.8m、室町前期の包含層(土師器Ⅱ)。 -1.3m、鎌倉前期の包含層(土師器Ⅱ)。№3: -0.6m、鎌倉前期の包含層(土師器Ⅱ、瓦器火鉢)。 -1.14m、平安末期の包含層(土師器Ⅱ)。 -1.25m、平安後期の包含層(土師器Ⅱ、変、輸入白磁Ⅱ)。№4:-0.75m、江戸後~末期の包含層(丹波甕、瓦)。 -1.15m、室町中期の包含層(土師器Ⅱ)。 -1.5m、鎌倉前期の包含層(土師器Ⅱ、須恵器鉢、東播系須恵器鉢、瓦器火鉢、漆床片、炭)。	HL201	4
五条三坊 二町	下・仏光寺通西院東入曾大匠町178	9/30~10/7	-0.63m以下、灰オリープ色粘土の地山。	HL208	5
五条三坊 五町	下・室町通松原上る高辻町591	11/21-22-25	№1:-2.03m、平安末期の包含層(土師器Ⅱ、須恵器不明品、瓦器鉢)。 -2.23m、平安後期の包含層(土師器Ⅱ、須恵器杯・鉢)。 -2.37m、平安中期の包含層(土師器Ⅱ、高杯、黒色土師鉢、平瓦)。 №2:-2.25m、室町の包含層(土師器Ⅱ)を切って室町中期の帯込(土師器Ⅱ、須恵器鉢、焼締陶器鉢、輸入白磁、有孔皿)。 №2:-1.2m、桃山の包含層(土師器Ⅱ、前母鍋)。 -1.4m、室町中~後期の包含層(土師器Ⅱ、変、瀬戸系無釉陶器鉢)。 №3:-0.96m、室町末期の包含層(土師器Ⅱ)。	HL268	5
五条三坊十三町	下・東洞院通高辻下る豊福町585,586	12/11~18		HL286	5
五条四坊 十町	下・富小路通綾小路下る他師屋町98	9/18~10/15	-1.25m、室町後期の包含層(土師器Ⅱ)。 -1.65m、室町前期の包含層(土師器Ⅱ、常滑甕)。 -1.95m、鎌倉後期の包含層(土師器Ⅱ)。	HL195	5
五条四坊十四町	下・御幸町通仏光寺下る橋町434	10/22-23	-1.0m、江戸初期の包含層(土師器Ⅱ、焼地壺)。	HL232	5
六条一坊 十町	下・中堂寺前町19,19-3	5/29-31	-1.23m以下、灰オリープ色砂礫の地山。	HL066	4
六条二坊 二町	下・大宮通松原下る西門前町421の一部、422の一部	6/10-11	-0.5mまで現代盛土。	HL079	4
六条二坊 九町	下・松原通袖小路西入横町46-1の一部、 袖小路通松原下る堀口町316	10/15	-0.43mまで現代盛土。	HL225	4
六条二坊十五町	下・五条通西院西入平屋町414	9/20-24-25	-1.43m、厚さ1.6mの地状地盤。上層で室町末期の遺物(土師器Ⅱ、灰物陶器大鉢、瓦器甕)が出土。	HL200	4
六条三坊 十町	下・万寿寺通鳥丸西入御供石町360-1	6/10~12	-1.6m、黒褐色砂泥、-2.05m、灰黄褐色粗砂層を被出。地か沼の地積と考えられる。	HL078	5
六条三坊十二町	下・室町通五条下る2丁目標町235,235-1	10/29~11/7	-0.85m、江戸末期の包含層。	HL238	5
六条四坊 二町	下・高倉通五条上る亀屋町181	8/2~12	№2:-1.2m、江戸中期の包含層(肥前系磁器染付碗、京焼系火入、土製品)。 -1.75m以下、灰黄褐色砂礫の地山。	HL150	5
六条四坊 三町	下・四之町通五条下る大津町9,11,23、 福島町523	9/11~13		HL190	5
六条四坊 十町	下・富小路五条上る本神明町426-2	9/18~20-24	№1:江戸前期の土壌(土師器Ⅱ、肥前系陶器大鉢・鉢、志野向付、瀬戸系鉄輪鉢)。 №2:-1.4m、時期不明の洗れ地盤。	HL194	5
六条四坊十三町	下・五条通寺町西入御影堂町8,10、 西高瀬川筋五条下る平屋町38,39	8/23-30,9/4	-1.8m以下、褐色砂礫の地山。	HL173	5
六条四坊十四町	下・五条通河原町西入本覚寺前町814-1、 816,818-1	8/19~22	-0.8m、江戸末期の土壌。	HL167	5

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査№	図版
七条一坊 一町	下・西新屋敷下町～西新屋敷地蔵町 地先	4/26～5/13	-0.5m, 時期不明の包含層(須恵質陶器)。	HL038	6
七条一坊十三町	下・大宮通七条上る御器屋町43	5/28	-0.8mまで現代盛土。	HL063	6
七条二坊 九町	下・西水屋町道上ノ口上る梅津町88	10/18-22	-0.64mまで現代盛土。	HL227	7
八条二坊十二町	南・西九条寺ノ前町15-3	10/15～11/6	-3.0mまで現代盛土。	HL222	6
八条三坊 一町	下・七条通新町西八夾之町690, 691	9/25～10/7	-0.9m, 室町末期の包含層(土師器Ⅱ・羽釜, 天目柄)。	HL204	7
八条四坊 五町	下・西之町161	8/29	-1.4m, 近世の流れ堆積。	HL176	7
八条四坊 七町	下・上之町	4/15	-0.7m, 江戸末期の包含層。	HL022	7
八条四坊 九町	下・上之町16-7・8	7/26～8/2	-0.42m, 時期不明の流れ堆積。	HL136	7
八条四坊 八町	下・小幡町28	7/4-5-9	-1.15m, 江戸末期の包含層。	HL107	7
八条四坊十一町	下・東七条上之町15～西之町197	9/19～10/18	-1.25m, 時期不明の流れ堆積。	HL199	7
九条二坊十三町	南・西九条藤王町～西九条春日町 地先 (一統園道1号)	11/11～12/2	-0.64m, 鎌倉前期の包含層(土師器Ⅱ)。	HL256	6
九条三坊 九町	南・東九条上藤田町50-2, 51, 52	4/23-26	-0.3m以下, 褐色砂礫の地山。	HL031	7
九条三坊 九町	南・東九条上藤田町48	12/4-6-9	-0.5m, 室町初期の包含層(土師器Ⅱ), -0.6m, 鎌倉末期の包含層(土師器Ⅱ)。	HL278	7

平安京右京 (HR)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査№	図版
北辺二坊 五町	北・北野下白梅町51-2	5/2～14	-0.03m, 平安前期の包含層(土師器Ⅱ・甕, 黒色土器類)。	HR042	9
一条二坊十三町	中・西ノ京西内町 地先	8/19-9/9	-0.8m, 褐色砂礫(粘土混)の地山。	HR166	9
一条四坊十四町	右・花屋伊町5-1, 2, 6-1-2	8/6-8	-0.4mまで現代盛土。	HR155	8
二条二坊 十町	中・西ノ京上合町21	11/5	-0.8mまで現代盛土。	HR243	9
二条二坊十六町	中・西ノ京内町地内	4/4-10-15-18	-0.86m, 平安後～末期の遺地状の露出(土師器Ⅱ・甕, 須恵器Ⅱ)。	HR006	9
二条三坊十二町	中・西ノ京小堀地町18-7他	9/3-4-9-19	-1.05m以下, 灰オリブ色砂礫の地山。	HR182	8
三条一坊 十町	中・西ノ京永本町14-6-10-22-23	6/18-19-21	-0.7m以下, 褐色砂礫の地山。	HR088	9
三条二坊十一町	中・西ノ京下合町40	10/2-4-7	-1.27m, 時期不明の遺地状堆積。	HR211	9
三条四坊 一町	右・太宰安井水戸田町13	6/26	掘削工事を行わず。	HR094	8
四条一坊 六町	中・壬生花井町3	5/8	-0.3mまで現代盛土。	HR046	11
四条二坊十二町	中・四条通西土器通上る壬生酒田町1-4	7/29-30	-0.38～-1.47mまで流れ堆積。-1.47m以下, に ふい実褐色粘土の地山。	HR140	11
四条四坊 五町	右・西院四条旭町30-10, 50-2, 54	4/19-6/4	-2.0m以下, 実褐色砂礫の地山。	HR026	10
四条四坊 九町	右・山ノ内西儀町15-114 (C棟)	11/5	-0.3mまで現代盛土。	HR247	10
四条四坊 九町	右・山ノ内西儀町15-114 (B棟)	11/5	-0.3m, 旧耕作土。	HR248	10
四条四坊十三町	右・西院並目町6	7/26-29	-0.6mまで現代盛土。	HR135	10
四条四坊十五町	右・山ノ内西儀町～山ノ内地沢町 地内	7/24-9/27	-1.4m, 時期不明の遺地状堆積(須恵器)。	HR131	10
五条二坊 十町	右・西院三森町7	6/3-7-10	-0.5m, 平安前期の遺地状堆積(土師器Ⅱ, 須恵器Ⅱ, 緑釉陶器, 灰釉陶器)。	HR072	11
五条二坊十五町	右・西院北矢掛町39-1-13	11/18-26	№1: -0.43m, 室町中期の包含層(土師器Ⅱ, 瓦器大鉢)。-0.48m, 室町前期の包含層(土師器Ⅱ)。-0.53m, 鎌倉末期の包含層(土師器Ⅱ)。 №2: -0.54m, 平安中期の遺地状堆積(土師器Ⅱ)。-0.92m, 平安前期の遺地状堆積(土師器Ⅱ・杯, 瓦)。	HR265	11
五条四坊十五町	右・西院東貝川町57-1	4/5-8	-0.48m以下, 褐色泥砂(礫混)の地山。	HR008	10
五条四坊十五町	右・西院東貝川町60-1, 61-1	12/3-5	-0.58m以下, 実褐色砂礫の地山。	HR277	10
六条一坊 六町	下・五条通南側, 七本松通東入る一平本通 地内	10/7～12/12	-1.1m以下, オリブ色砂礫の地山。	HR215	11
六条一坊十四町	下・五条通南側, 西高瀬川～ 七本松通東入る 地内	10/7～11/8	-0.7mで褐色砂礫の地山を切って暗オリブ灰 色粘土の時期不明の露出。	HR216	11
六条二坊 七町	中・壬生高田町4-8	10/8-16	-0.8m以下, オリブ褐色及び灰褐色粘土の地 山。	HR218	11
六条三坊十二町	右・西院西儀町29-4	11/28～12/3	-0.7m, 室町中期の包含層(土師器Ⅱ)。	HR272	10
六条四坊 九町	右・西院月友町72, 77-1	8/5-6	-1.1m, 時期不明の耕作土。	HR151	10

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
七条一坊 五町	下・朱雀分木町～朱雀北ノ町 地内	9/18～10/16	№5：-0.52m、鎌倉末期の包含層（土師器皿）を切って室町前期の落込（土師器皿、瓦器類）。№10：-0.52m、平安中期の落込（土師器皿、平瓦・丸瓦、軒平瓦）。№11：-0.49m、平安の包含層（平瓦）。本文6ページ。	HR197	13
七条二坊 二町	下・榊前通、五条通～七条通 地内	4/3～8/13	№2：-0.32m、江戸後期の土溝（肥前系黒磁胎付皿）。№3：-0.27m、時期不明の溝状遺構。西大宮大路の西側溝と考えられる。№8：-0.58m、江戸末期の包含層（土師器皿）。№11：-0.83m、室町前期の包含層（土師器皿）。	HR003	11-13
七条三坊 五町	右・七条通、葛野大路通～佐井西通 地内	9/11～12/2	-1.17～-1.4m、時期不明の窪地状遺構。	HR191	12
七条四坊十五町	右・西京極西池田町 地内	9/18～30	№1：-0.42m以下、褐色粘土の地山。№2：-0.3m以下、褐色粘土の地山。№4：-1.03mと№5：-1.08mで窪地状遺構の暗オリーブ灰色泥土。№6：-1.57m以下、灰オリーブ色砂礫の地山。	HR196	12
八条一坊 七町	下・西七条東久保町55-3	7/15	№1：-1.0m、褐色砂礫の流れ地機。	HR123	13
八条二坊 九町	下・西七条南衣田町93	9/10	-0.35m、時期不明の旧耕作土。	HR188	13
八条二坊十五町	下・七条御所ノ内北町 地先	8/1～9/18	№1：-0.27m、江戸前期の包含層（肥前系陶器皿）。№3：-0.66m、室町の包含層（土師器皿）。-0.74m、時期不明の窪地状遺構。№4：-0.36m、古墳前期の包含層（土師器皿）。	HR148	13
八条三坊 十町	右・西京極下沢町～西京極畑田町 地先	10/2～29	-0.5m、旧耕作土。	HR212	12
八条四坊 十町	右・西京極南方町	8/30	№1：-0.77m以下、暗灰色砂礫の地山。№2：-0.83m、暗灰色細砂（礫混）の流れ地機。	HR179	12
八条四坊十六町	右・西京極南方町10	7/18-22	-0.54m、近世の包含層（土師器皿、瓦）。	HR125	12
九条一坊 四町	南・九条通北側、唐橋堀地門町～唐橋高田地内	7/29-30	掘削工事を行わず。	HR138	13
九条二坊十二町	南・唐橋西平塚町16	10/15	-0.52m、旧耕作土。	HR224	13
九条三坊 一町	南・吉祥院西ノ庄東屋敷町70-2,71	5/13-14	-1.1m以下、灰オリーブ色砂泥の地山。	HR049	12
九条四坊 六町	南・吉祥院中河原里西町 地先	6/28～7/15	-1.1mまで現代遺土。	HR096	12

洛北地区 (RH)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
植物園北遺跡	左・下鴨水口町 地先	5/13～6/7	-0.29mで灰黄褐色砂泥の地山を切って、古墳前期の竪穴住居（土師器小型器白）。西側に壁溝が認められる。本文3ページ。	RH061	14-1
植物園北遺跡	左・下鴨水口町 地内	5/16～9/5	№4：-0.29m、古墳前期の包含層（土師器鉢）。竪穴住居の可能性あり。№3：東西2.5mの規模の竪穴住居とみられる遺構を確認した。№9：-0.6m、時期不明の包含層（土師器）。№10：-0.78m、時期不明の包含層（土師器）。№13：-0.7m、室町の包含層（土師器皿、土製瓦）。№2：-0.32m、竪穴住居とみられる遺構。№5：幅1.35mの竪穴住居を確認。本文3ページ。	RH053	14-1
植物園北遺跡	北・上賀茂御田町79,60の一部	8/27～9/4	-0.2m以下、褐色砂礫の地山。	RH175	14-1
植物園北遺跡	北・上賀茂北大路町33-21	9/10～12	№2：-0.8m、室町後期の包含層（土師器皿、瓦器火鉢）。№3：-0.75m、室町末期の包含層（土師器皿）。-1.4m、室町後期の包含層（土師器皿）。	RH187	14-1
植物園北遺跡	北・上賀茂岩ヶ畑内町47	10/23～25	-0.3m以下、黒褐色砂礫の地山。	RH234	14-1
植物園北遺跡	北・上賀茂呼勝町98-2,99-2	10/25-28-29	№1：-0.33m、旧耕作土。№3：-0.5m以下、褐色砂泥の地山。	RH236	14-1
北野遺跡	上・一条通御前西入三丁目西町29-4-6,30 地内	6/14-17-18	-0.7m、近世の包含層（土師器皿、陶器）。	RH086	16-3

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
北野遺跡・北野真寺	北・北野下白梅町52-3, 54-6	7/23～9/18	-0.03m, 室町後期の包含層(土師器Ⅲ)。	RH132	16-3
北野真寺・北野真寺	北・北野下白梅町52-4, 54-7	7/23～9/18	-0.03m, 室町後期の包含層(土師器Ⅲ)。	RH133	16-3
北野遺跡・北野真寺	北・北野白梅町7	11/28	平成14年度京都市内遺跡試掘調査報告に報告。	RH271	16-3
相国寺旧境内・室町殿跡(花の御所)	上・丸丸通西側、上立売通～今出川通 地内	10/2～12/2	No.10: -1.77m, 江戸前期の包含層(土師器Ⅲ)。 No.13: -0.7m, 室町中期の包含層(土師器Ⅲ)。	RH210	16-5
相国寺旧境内・出雲寺跡	上・丸丸通鞍馬口下る相国寺門前町 地先	6/6～7/24	No.1: -0.2m, 室町末期の包含層(土師器Ⅲ)。 No.2: -0.4m, 室町前期の包含層(土師器Ⅲ)。 No.3: -0.74m, 室町前期の包含層(土師器Ⅲ)。 No.4: -0.25m, 室町前期の包含層(土師器Ⅲ)。	RH077	16-5
室町殿跡(花の御所)	上・今出川通室町東入今出川町329-1	9/13・18・24・25	-0.17m, 江戸後期の包含層(土師器Ⅲ)。この下層から、石列を抽出し、調査地東側でも同様の石列を確認した。範囲及び輪郭は不明であるが、江戸後期の地味遺構と考えられる。	RH193	16-5

太秦地区 (UZ)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
仁和寺院家跡	右・常盤柏ノ木町～常盤神田町 地先	9/10～19	-1.2m, 時期不明の流れ堆積。	UZ189	15
法金剛院境内	右・花園寺ノ内町4の一部	10/23～25・28	No.1: -0.47m, 時期不明の整地層。東は境内敷地端まで、西はNo.1より約6mにわたって広がっている。北側はすでに削平され、No.1より3.9m離れた断面では整地層は確認できなかった。遺物は出土せず、池の底部の可能性がある。 -0.6m以下、灰黄褐色砂泥の地山。No.2: -0.68m, 灰黄褐色砂泥の地山を切って時期不明のピット。	UZ233	15
常盤仲之町遺跡	右・太秦崎岡町11-27・28	6/3～5	-0.5m以下、褐色砂泥の地山。	UZ074	15
常盤仲之町遺跡	右・太秦骨木ヶ原町～太秦崎岡町	11/14・15・19	-1.55m以下、オリーブ褐色砂泥の地山。	UZ280	15
常盤仲之町遺跡	右・太秦一ノ井町31	11/20～22	-0.5mで包含層と思われる黒褐色砂泥を抽出するが遺物は出土せず。この層は-0.8mでよい黄褐色砂泥の地山を切って窪込みを形成。	UZ267	15
一ノ井遺跡					
仲野親王墓古墳(遷美山古墳)	右・太秦熊突山町 地内	11/5～19	-0.2mで暗灰黄色砂泥層、包含層と思われるが遺物は抽出できず。-0.56m以下、黄褐色砂泥の地山。	UZ244	14-3
上ノ段町遺跡	右・太秦御所ノ内町14-1, 15-1の一部、16, 17-1の一部, 33-2の一部	10/4・7～9	-0.55m, 旧耕作土。	UZ214	14-3
御所ノ内町遺跡					
多藪町遺跡	右・太秦前ノ田町池	10/22～11/5	-0.78mで褐色砂泥層を抽出。	UZ230	15

北白川地区 (KS)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
一乗寺向陽遺跡	左・修学院大竹林町8-4, 9-8	7/8～15	No.1: -0.33mで黄褐色粗砂の流れ堆積を抽出。 No.2: -0.25mで黄褐色粗砂の流れ堆積を抽出。 No.3: -0.4mで耕作土を抽出。-0.78mで褐色粗砂の流れ堆積を抽出。流れ堆積は音羽川の氾濫と考えられる。	KS112	16-2
田中橋之跡	左・田中里ノ内町30-1	10/21～24	-0.24m, 時期不明の包含層(土師器)。	KS228	17
京都大学北斎館内遺跡	左・田中門前町 地内	5/20～8/13	-1.14m, 時期不明の包含層(土師器)。	KS055	17
京都大学本部構内遺跡	左・吉田神楽岡町30-1	8/1・2	No.1: -0.5m, 鎌倉末期～室町初期の包含層(土師器Ⅲ, 瓦葺柄, 輸入白磁碗)。No.2: -0.52m, 鎌倉後期の包含層(土師器Ⅲ)。-0.74m以下、黄褐色粗砂の地山。	KS146	17
京都大学構内養生遺跡					
白河街区跡	左・丸丸通川端東入丸丸町43-6	5/29～6/5	-0.5m以下、よい黄褐色粗砂(礫混)の地山。	KS068	17

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
白河街区跡	左・仁王門通新高倉西入福本町409	6/6-7	-1.63m、平安末期の埋地状堆積(土師器瓦)が全体に広がる。	KS076	17
白河街区跡	左・岡崎西福ノ川町1-25-30-31	9/18-19-24	-1.0m以下、黄褐色細砂の地山。	KS198	17
白河街区跡	左・宮田下大路町58-1	9/2	-0.65m、明褐色粘土の地山。	KS181	17
神楽岡城跡	左・岡崎円勝寺町1-9	5/21-22	-0.35m、堂町前期の包含層(土師器瓦、瓦)。	KS058	17
延勝寺跡	左・岡崎徳成町10-13	5/28-7/23	巡回時、工事終了。	KS062	17
得長弁院跡	左・北門前町 地内	5/16-9/10	-1.0m、時期不明の埋地状堆積。	KS054	17
岡崎遺跡	(仁王門通東大路通～吉川町通)				
岡崎遺跡	左・東大路通仁王門北門前町～岡崎円勝寺町	9/30-11/27	№3：-0.9m、堂町の包含層(土師器瓦、羽釜瓦)。№11：-0.74m、堂町中期の包含層(土師器瓦)。	KS209	17
白河街区跡					

洛東地区 (RT)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
珍島寺旧境内	東・清水四丁目～五条坂進行街町 地内	7/15-9/10	-0.9mまで現代盛土。	RT119	18
鳥部(辺)野	東・今熊野地山町、南日吉町、泉山町	11/7-20	-1.2mで時期不明の褐色砂泥(礫混)層を抽出。	RT253	19-3
鳥部(辺)野	東・今熊野南日吉町	11/28-12/3	-1.6mまで現代盛土。	RT274	19-3
六波羅殿跡	東・大和大道通五条上る山崎町388	7/15-17	-0.17m、江戸後期の包含層(土師器瓦、瀬戸系鉄絵陶器鉢)。-0.82m、江戸前～中期の包含層(土師器瓦)。	RT122	18
六波羅殿跡	東・渋谷通東大路西入徳勝町397	9/20-24	-0.25m以下、黄褐色粘土の地山。	RT202	18
法住寺殿跡	東・本町通、堀小路通～泉涌寺地内	4/25-10/17	-0.76m、平安後期の包含層(平瓦)。-0.92m以下、褐色砂泥の地山。	RT037	18
法住寺殿跡	東・本町六丁目1-2	7/22	-0.35mまで現代盛土。	RT130	18
法住寺殿跡	東・東大路通渋谷下る妙法院前御町440 東山小学校	7/24-26	-0.36m、江戸後期の包含層(土師器瓦、瓦)。 -0.55mでいり褐色粘土の地山を切って土壁を抽出。江戸前期の障鉢、時期不明の磁器が出土。その上層に多量に炭を含む層があり、京焼に関連する遺構ではないかと思われる。	RT134	18
法住寺殿跡	東・本瓦町670	8/20	-0.8m、時期不明の整地層。	RT170	18
法性寺跡	東・福稻御所ノ内町地 地内	6/24-7/8	-1.2mまで現代盛土。	RT091	18
法性寺跡	東・福稻御所ノ内町地 地先	9/13-18	-0.95mまで現代盛土。	RT192	18
山科本願寺跡	山・西野山階町30-6	5/1	掘削工事を行わず。	RT041	19-1
山科本願寺跡	山・曾野伊勢町40の一部	6/13	-0.1mで暗褐色砂泥を抽出。	RT081	19-2
中區遺跡	山・勤修寺西薬師野町256-1-2	4/5-8	-0.5m、耕作土。	RT007	19-4
中區遺跡	山・薬師野草ノ木町27-2	4/22-23	-0.63m以下、褐色砂泥の地山。	RT019	19-4
中區遺跡	山・勤修寺東金ヶ崎37-1	4/15	-0.28mまで現代盛土。	RT021	19-4
中區遺跡	山・薬師野草ノ木町27-2	6/17	-0.2m以下、暗褐色砂泥の地山。	RT087	19-4
中區遺跡	山・西野山中区町76-2	7/31	-0.1m以下、黒褐色砂泥の地山。	RT143	19-4
中區遺跡	山・薬師野打地町18-12	8/5-6	-0.26～0.6mで時期不明の土壁。	RT154	19-4
中區遺跡	山・薬師野草ノ木町27-4	8/13-15	-0.43mで褐色粘土の地山を切って時期不明の土壁。	RT163	19-4
中區遺跡	山・薬師野草ノ木町27-6	8/13-15	-0.5m以下、褐色砂泥の地山。	RT164	19-4
中區遺跡	山・薬師野草ノ木町2-4-5-6-7-8	9/2-4	+0.54m以下、いり黄褐色砂泥の地山。	RT180	19-4
中區遺跡	山・柳辻番所ヶ口町154	9/24	巡回時、工事終了。	RT203	19-4
中區遺跡	山・勤修寺西金ヶ崎238	9/30-10/4	-1.6～2.7mまで埋地状堆積の泥土層。-2.7m以下、黄灰色砂泥の地山。	RT207	19-4
中區遺跡	山・勤修寺東薬師野町17	11/25-29	№1：-0.85m、黄褐色砂泥の地山。№2：-1.34m、鎌倉後期～室町の包含層(土師器瓦)。-1.52mでいり黄褐色砂泥の地山。№3：-0.95mで褐色砂泥の地山。	RT270	19-4
中區遺跡	山・柳辻番所ヶ口町37-7	12/4-5	-0.6mまで現代盛土。	RT279	19-4
中區遺跡	山・柳辻番所ヶ口町37-7	12/4-5	-0.33mまで現代盛土。	RT280	19-4

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
中區遺跡・中區十三塚	山・東野舞台町95-5の一部	12/9-11	-0.2mまで現代盛土。	RT283	19-4
中區十三塚	山・西野山中区町74	4/12-14-18	-1.33m以下、褐色砂泥の地山。	RT014	19-4
中區十三塚	山・西野山中区町74-30	4/12-15-18	-1.3m以下、褐色砂泥の地山。	RT015	19-4
中區十三塚	山・西野山中区町74-29	4/12-15-18	調査地は富通朝臣墓の西側に接する地点にある。No2；+0.02m、時期不明の溝状遺構。この西側からは+0.02mで幅0.51m、深さ0.42mの溝状遺構を抽出。極めて小片ながら弥生土器（器形不明）が出土しており、1971年、中區遺跡第一次調査で確認された方形周溝墓の続きであると考えられる。	RT016	19-4

鳥羽地区 (TB)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
深草遺跡	跡・西浦町3丁目69	7/1-3	-0.65m以下、湿地または流路状の堆積。	TB098	21-1
深草坊町遺跡・深草寺跡	跡・深草僧坊町62	8/9-13-19	-0.6m以下、褐色粘土の地山。	TB156	21-1
鳥羽雁宮跡	伏・竹田真幡木町51	4/19-22	-1.04m以下、時期不明の硬地状堆積。	TB025	20
鳥羽雁宮跡	伏・中島前山町150	5/13-16	-0.7m、池沼状の堆積。望町の土師器皿と瓦葺火鉢が出土。	TB050	20
鳥羽雁宮跡	伏・竹田真幡木町120	5/14	-0.5mまで現代盛土。	TB052	20
鳥羽雁宮跡	伏・竹田浄菩提院町104の一部、105の一部	6/27-28	-0.25mまで現代盛土。	TB095	20
鳥羽雁宮跡	伏・竹田中内畑町96の一部、97	7/2-4	-0.4mまで現代盛土。	TB102	20
鳥羽雁宮跡	伏・竹田中内畑町74	7/2-5	-0.25mまで現代盛土。	TB103	20
鳥羽雁宮跡	伏・中島河原田町4-11	8/2	-0.25mまで現代盛土。	TB149	20
鳥羽雁宮跡	伏・竹田中内畑町 地先	8/30	-1.25mまで埋込。	TB177	20
鳥羽雁宮跡・鳥羽渡跡	伏・中島鳥羽雁宮町16・17	11/13-18-19	試掘調査では-1.03mで遺構面を抽出。立合では掘削深-0.8mまでで遺構面に到達しないことを確認。	TB258	20
鳥羽雁宮跡	伏・竹田西内畑町138,139,140	11/25	-0.2mまで現代盛土。	TB269	20
鳥羽遺跡	伏・竹田浄菩提院町41,41-1,43,44,45	4/1	-0.35mまで現代盛土。	TB001	20
鳥羽雁宮跡	伏・竹田東小原ノ内町12-16	5/29,6/4-5	-0.5m、平安中期の包含層（土師器皿）。	TB067	20
芥川城跡	跡・下鳥羽渡瀬町8-5	10/22-24	-0.97mまで旧耕作土。	TB231	20
久我殿遺跡	伏・久我本町	5/8	-0.9mまで現代盛土。	TB045	21-3
久我殿遺跡	伏・久我御旅町1-24の一部	5/5-13	-0.7m、時期不明の包含層。	TB048	21-3
新橋遺跡	跡・吉祥院九条町1-2	7/8	-0.36m以下、褐色砂泥の地山。	TB109	21-2

伏見・醍醐地区 (FD)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
法界寺田境内	伏・日野大通町12-6	7/4-5-8	-0.25m以下、オリーブ色砂泥の地山。	FD108	19-5
伏見城跡	伏・新町九丁目410	4/11-12-18	-0.92m以下、にぶい黄褐色粘土の地山。	FD013	22
伏見城跡	伏・桃山町三河56-7	5/30-31	-0.84mまで現代盛土。	FD070	22
伏見城跡	伏・桃山町櫻来16-5-12-19	7/15	-0.3m以下、黄褐色粘土層を抽出。	FD120	23
伏見城跡	伏・桃山町三河69-6	8/1-26	-1.73m、黄褐色泥砂層を抽出。	FD147	22
伏見城跡	伏・御駕籠町124-15	8/19-9/4	-0.37m、時期不明の路面。	FD153	22
伏見城跡	伏・桃山福島大夫北町41 興竹養護学校	8/12	-1.15mまで現代盛土。	FD160	22
伏見城跡	伏・岡替町一丁目382-1,383-1-2	8/12-16	-0.35mまで現代盛土。	FD161	22
伏見城跡	伏・墨染町～桃山最上町	9/9-10/23	-1.0m、旧耕作土。	FD183	22

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査№	図版
伏見城跡	伏・深草大亀谷六林町の一部、 深草大亀谷万輪堂町の一部	11/18～20	-0.25m以下、褐色砂泥（礫混）の地山。	FD262	23
伏見城跡・ 御香宮庭跡	伏・御香宮門前町184-3・4	10/30	-2.6mまで現代盛土。	FD240	22
肉島城跡	伏・肉島中島町17	4/2・4	-0.2mでよい黄褐色粗砂の川砂層を抽出。	FD002	21-4

長岡京地区 (NG)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査№	図版
左京北辺三坊 八・九・十六町・ 中久世遺跡・ 大原遺跡	南・久世殿城町 地先	7/15	-0.9mまで現代盛土。	NG121	25-4
左京三条十三町	伏・久我西出町	4/22・24・25	-1.8mで灰色泥土の湿地状堆積を抽出。-2.16 m以下、黄褐色砂泥の地山。	NG030	24
左京西条四坊三町	伏・羽東師兼川町531	7/2～4	-0.45m、耕作土層。-0.66m以下、灰オリーブ 色砂泥の地山。	NG104	24
左京六条四坊八町・ 五条大路	伏・羽東師古川町174-2・7	5/21	-0.9mまで現代盛土。	NG056	24
右京一条三坊九町	西・大原野上黒馬鹿町3-11	5/27・28	-0.4mまで現代盛土。	NG061	25-1

南・桂地区 (MK)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査№	図版
上久世遺跡	南・久世上久世町149-3他	5/7・9・15	-0.6mまで現代盛土。	MK043	25-3
上久世遺跡	南・久世上久世町127-4 (B棟)	8/20, 9/2	-0.25mまで現代盛土。	MK168	25-3
上久世遺跡	南・久世上久世町127-1 (A棟)	8/20, 9/2	-0.25mまで現代盛土。	MK169	25-3
下津林遺跡	西・下津林領、下津林番倉	8/26～11/18	-0.2m以下、湿地状堆積。	MK174	25-2

報告書抄録

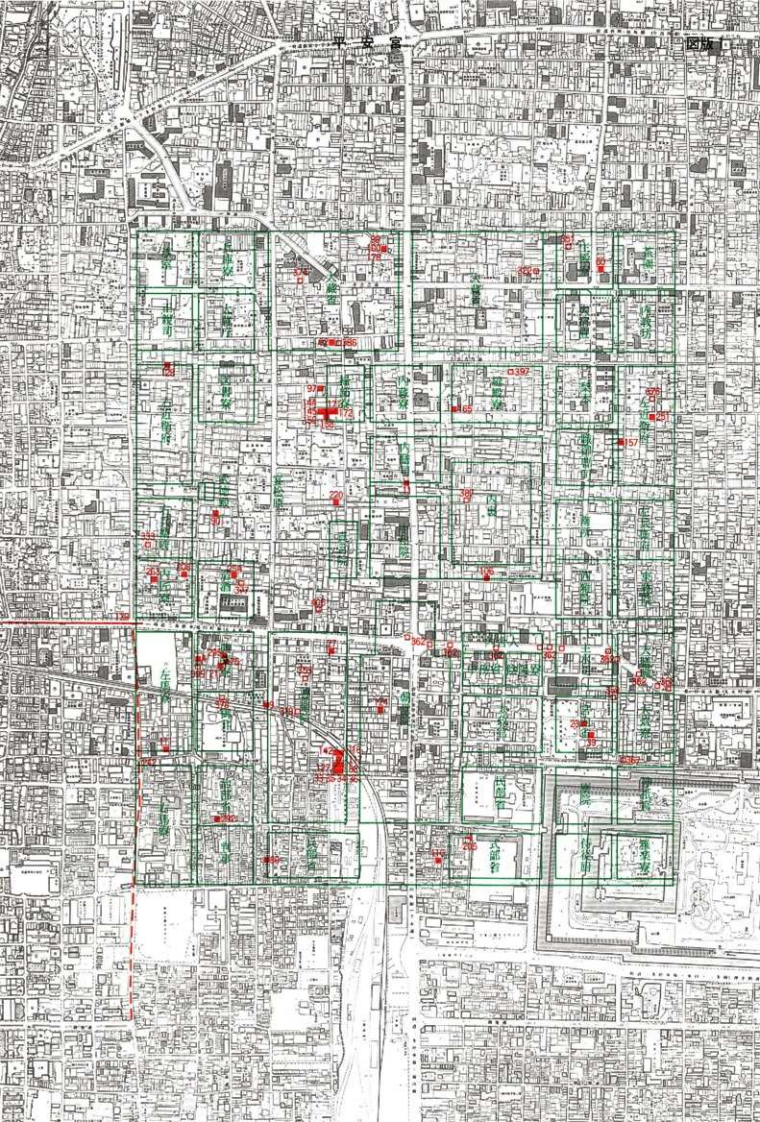
ふりがな	きょうとしないいせきたちあいちょうさがいほう							
書名	京都市内遺跡立会調査概報 平成14年度							
副書名								
巻次								
シリーズ名								
シリーズ番号								
編者名	小谷裕、菅田薫、堀内夏昭、モンベティ恭代、吉本健吾							
編集機関	財団法人京都市埋蔵文化財研究所							
所在地	〒602-8435 京都市上京区今出川通大宮東入元伊佐町265-1 TEL075-415-0521							
発行機関	京都市文化市民局							
所在地	〒604-0925 京都市中京区寺町通御地上る上本能寺前町488 TEL075-222-3108							
発行年月日	西暦2003年3月31日							
所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号					
平安京跡 右京五条三坊二町	京都市右京区 西院北矢揃町	26100		34度59分53秒	135度43分55秒	2002.3.12 - 3.18		住宅
平安京跡 右京七条一坊 五・六町	京都市下京区 本町区六町一丁目 ノ口町 地内	26100		34度59分14秒	135度44分35秒	2002.9.18 - 10.16		水道工事
植物園北遺跡	京都市左京区 下鴨水口町 地先	26100		35度3分4秒	135度46分15秒	2002.5.13 - 6.7		ガス工事
植物園北遺跡	京都市左京区 下鴨水口町 地内	26100		35度3分4秒	135度46分19秒	2002.5.16 - 9.5		水道工事
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
平安京跡 右京五条三坊二町	都城	平安～室町	遺物包含層・ピット・落込		土器類			
平安京跡 右京七条一坊 五・六町	都城	平安～室町	遺物包含層・落込		土器類・瓦類			
植物園北遺跡	墓冢	古墳	竪穴住居		土器類			
植物園北遺跡	墓冢	古墳	竪穴住居		土器類			

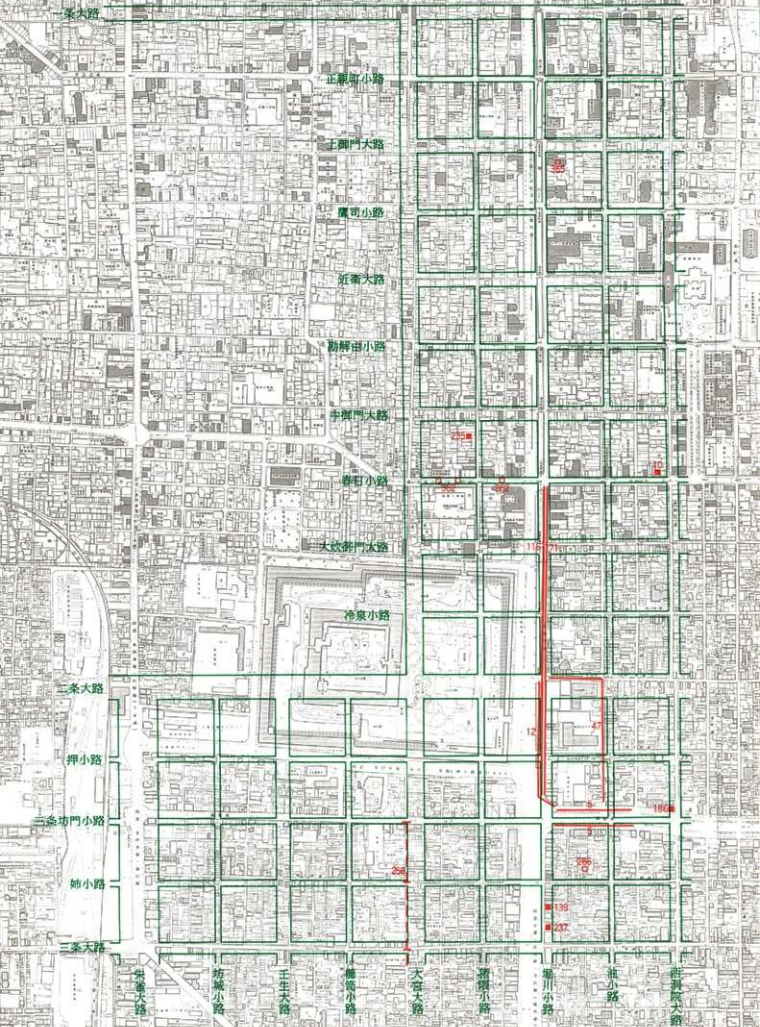
よ り が 交	きょうとしをいっせきたちあいらゆるきがいはう							
書 名	京都市内遺跡立会調査概報 平成14年度							
副 書 名								
巻 次								
シ リ ー ズ 名								
シ リ ー ズ 番 号								
編 著 者 名	小谷裕、菅田薫、船内寛昭、モンベティ恭代、吉本健吾							
編 集 機 関	御京都市歴史文化財研究所							
所 在 地	〒602-8435 京都市上京区今出川通大宮東入元伊佐町265-1 TEL075-415-0521							
発 行 機 関	京都市文化市民局							
所 在 地	〒604-0925 京都市中京区寺町通御地上る上本能寺前町488 TEL075-222-3108							
発 行 年 月 日	西暦2003年3月31日							
所収遺跡名	所 在 地	コ ー ド		北 緯	東 経	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市 町 村	遺跡番号					
法住寺殿跡 六波羅殿跡	京都市東山区 茶屋町 地内	26100		34度59分19秒	135度46分33秒	2001.3.23 ～5.14		公園
所収遺跡名	種 別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
法住寺殿跡、 六波羅殿跡	寺院	江戸	方広寺大仏殿	石仏				

面 函

凡 例

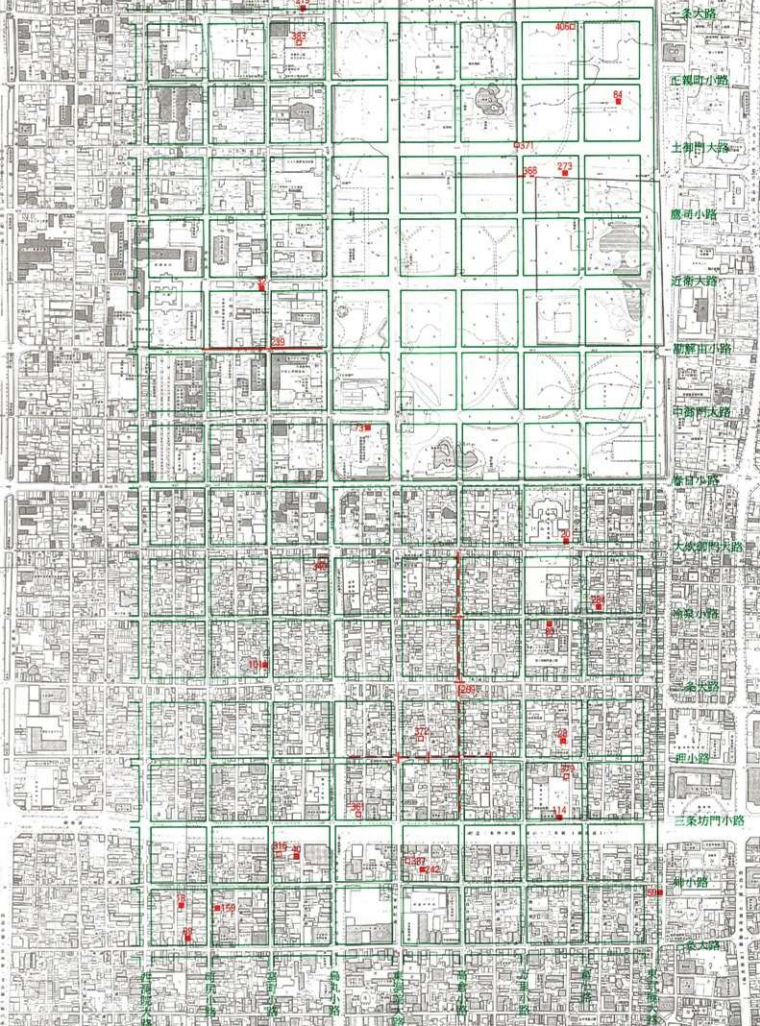
- — 2002年1～3月期（平成13年度）立会調査地点
■ — 2002年4～12月期（平成14年度）立会調査地点

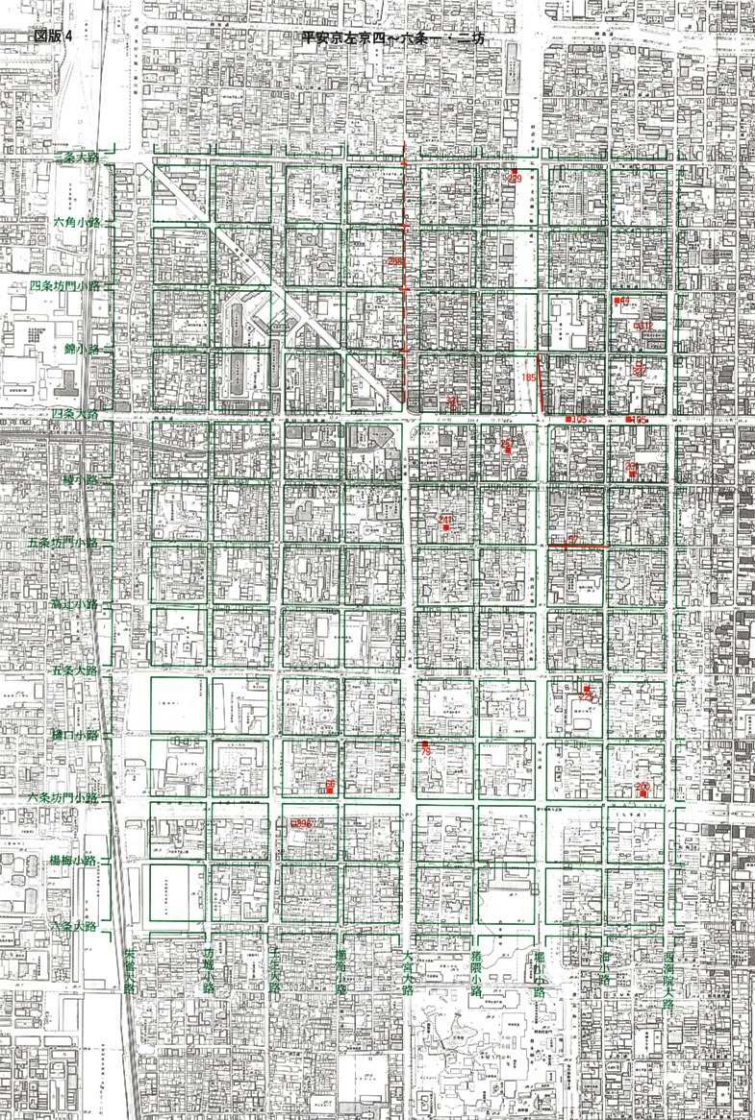


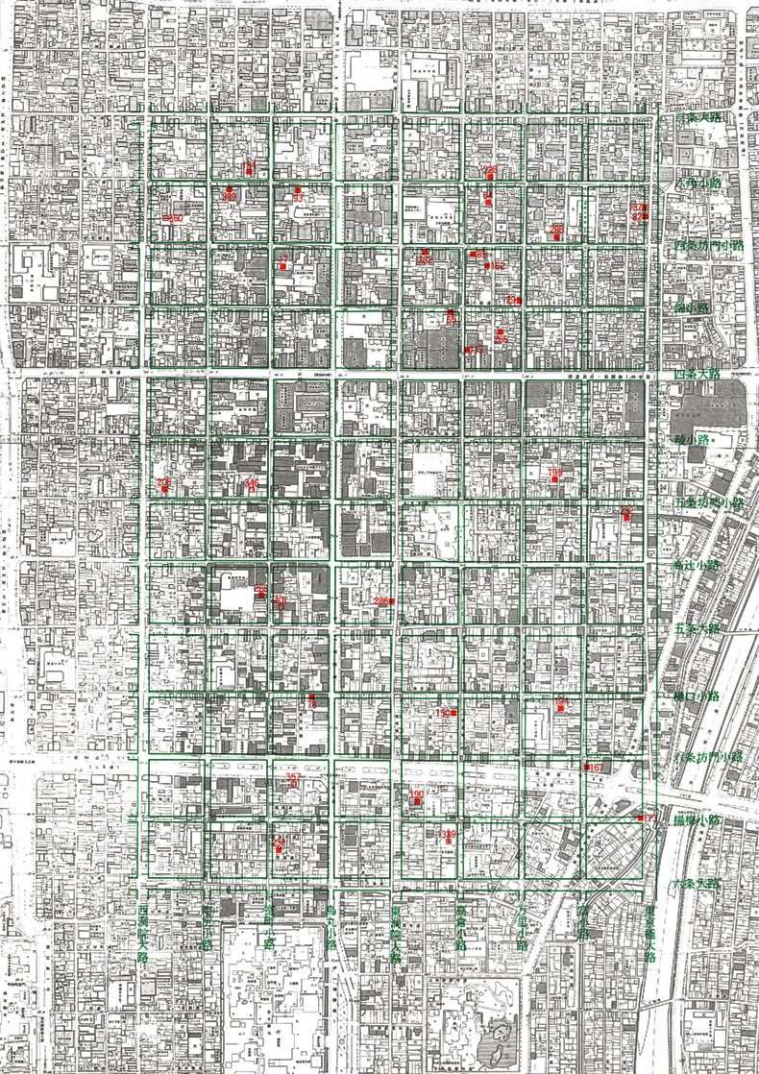


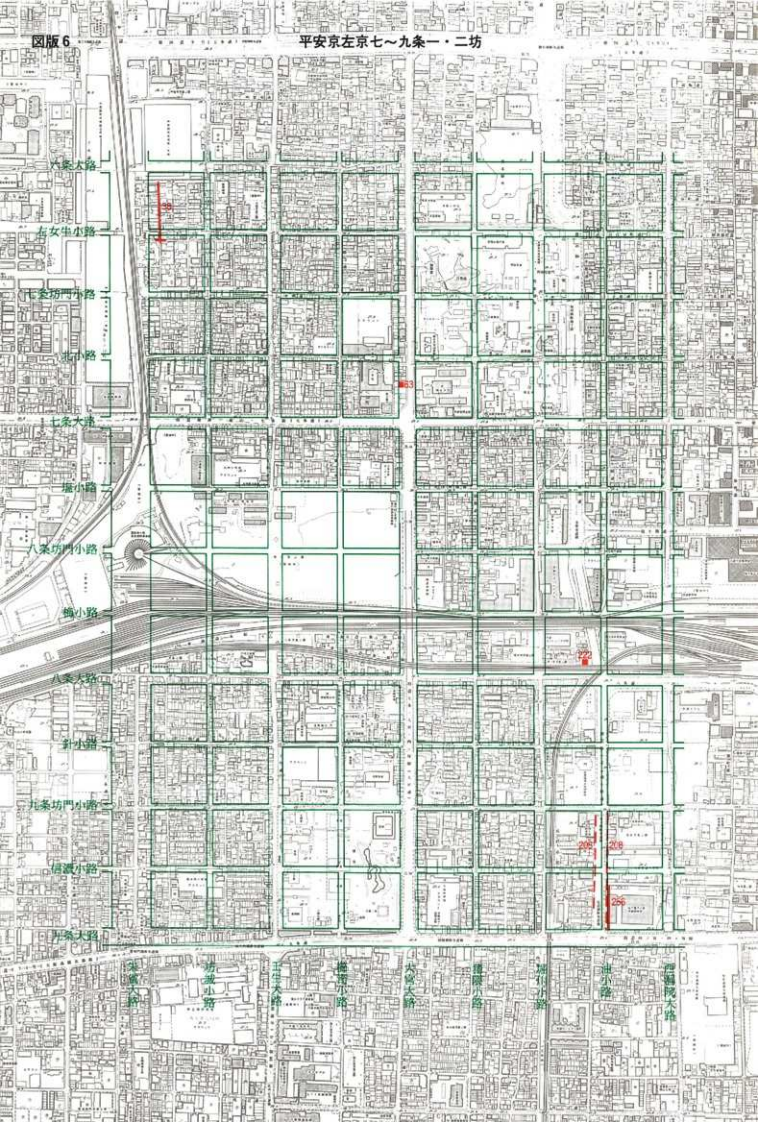
平安京左京北辺～三条三・四坊

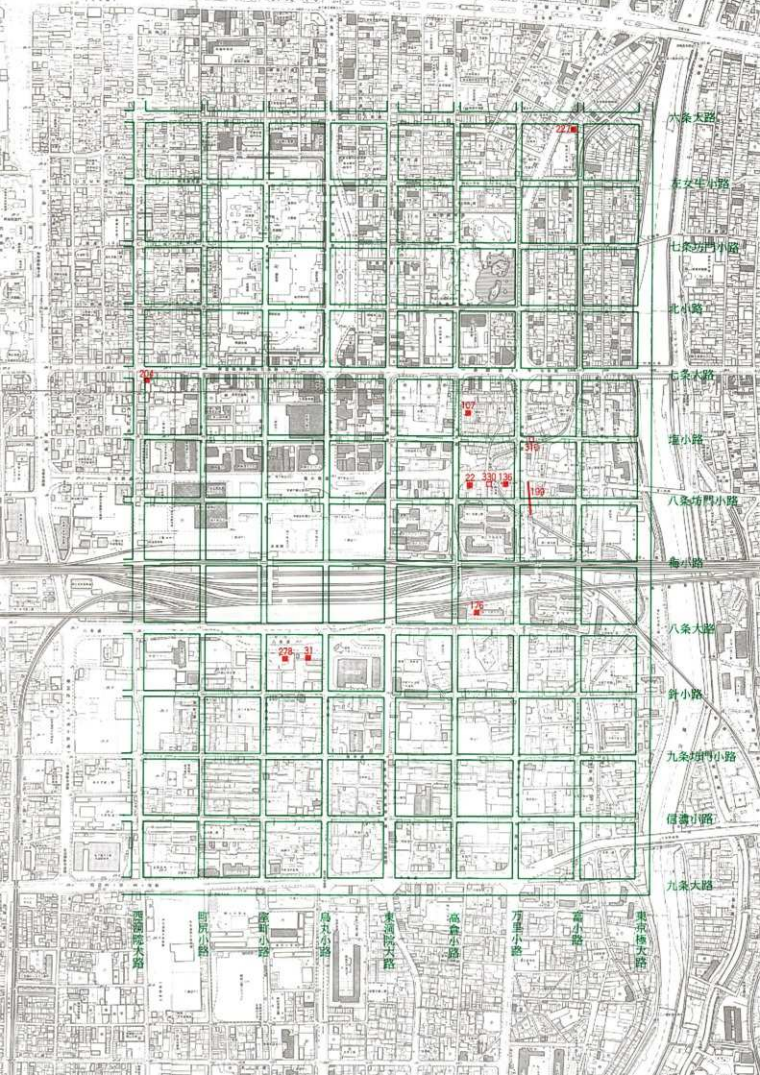
図版 3











六条大路

左女生小路

七条坊内小路

北小路

七条大路

蓮小路

八条坊内小路

舟小路

八条大路

針小路

九条坊内小路

傳書小路

九条大路

西院院大路

問所小路

露町小路

烏丸小路

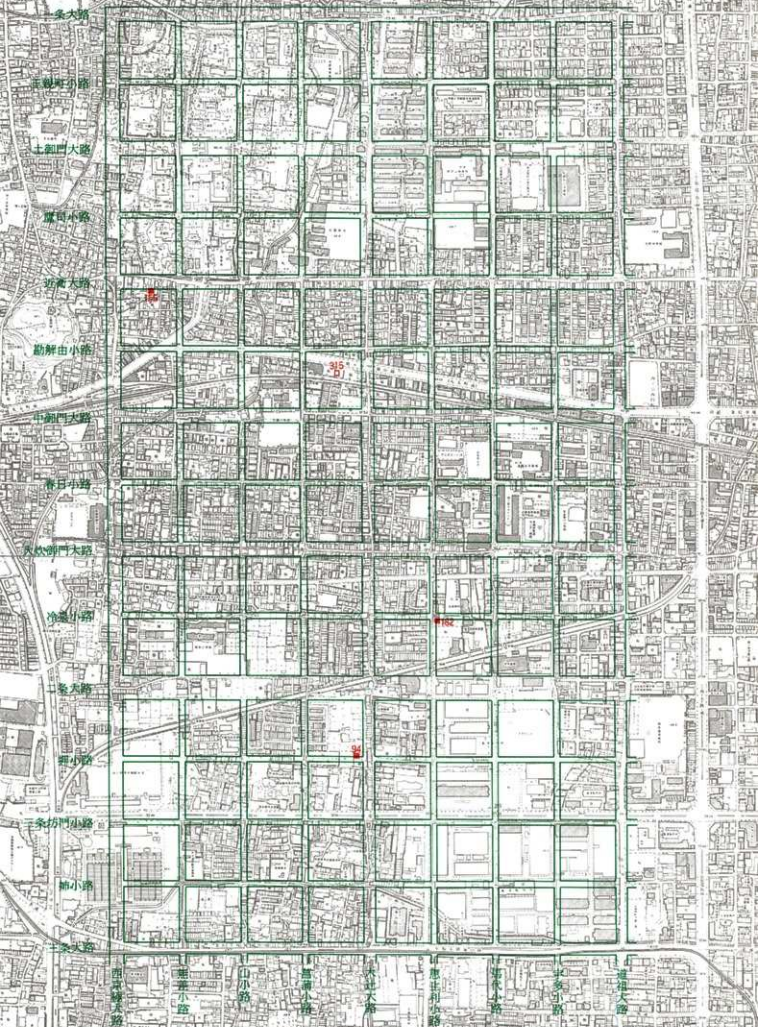
東通院大路

高倉小路

万里小路

高小路

東院院大路



一条大路

高野町小路

七御門大路

鷹匠小路

近衛大路

勘解由小路

中御門大路

春日小路

大炊御門大路

冷邊町小路

一条大路

堀小路

三条坊門小路

堀小路

三条大路

西宮大路

藤原小路

山小路

三木小路

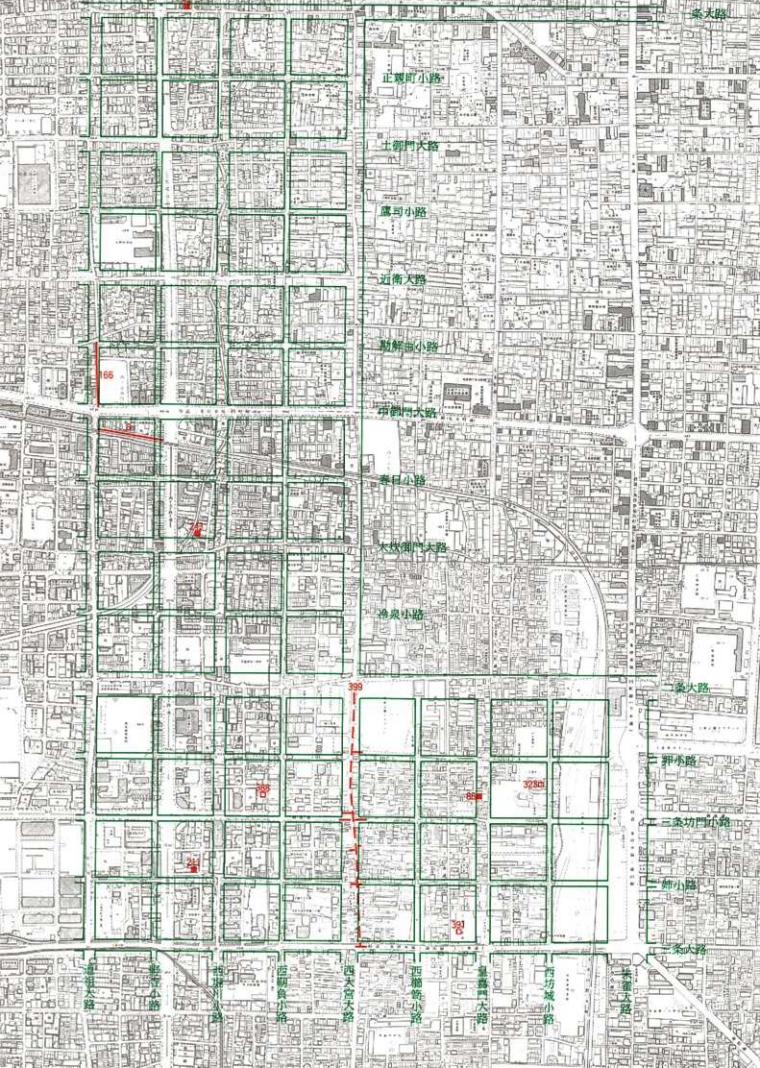
伏見大路

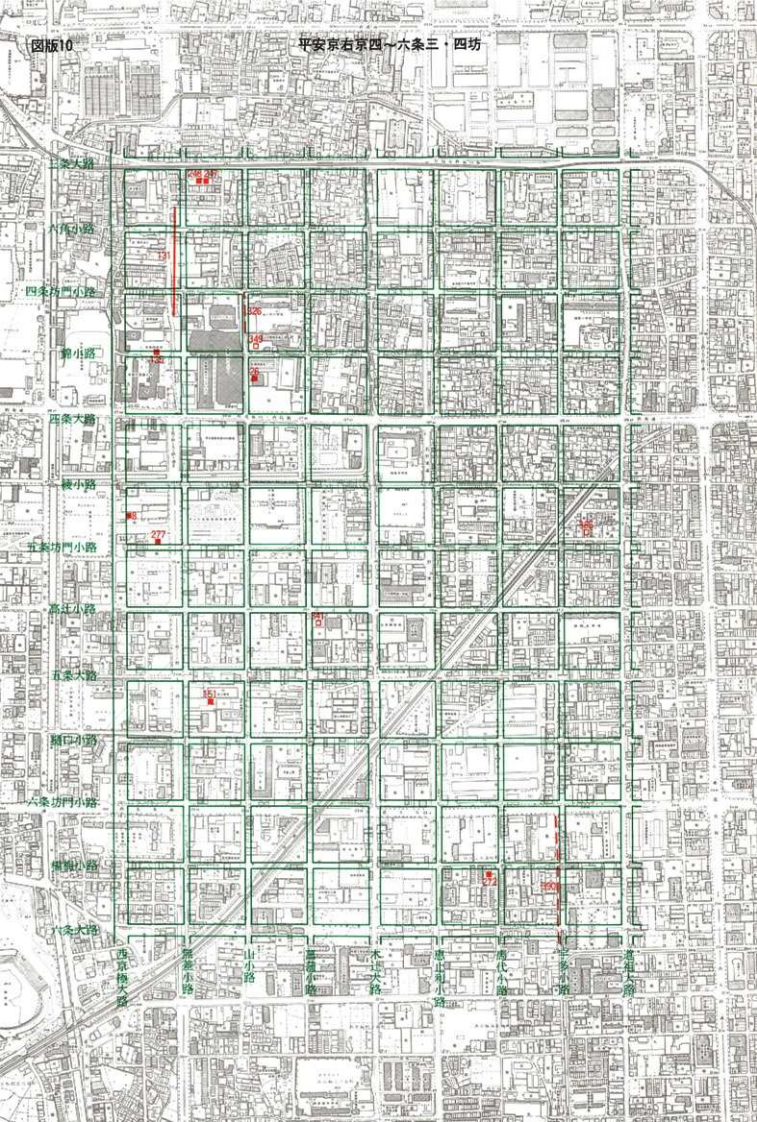
藤原町小路

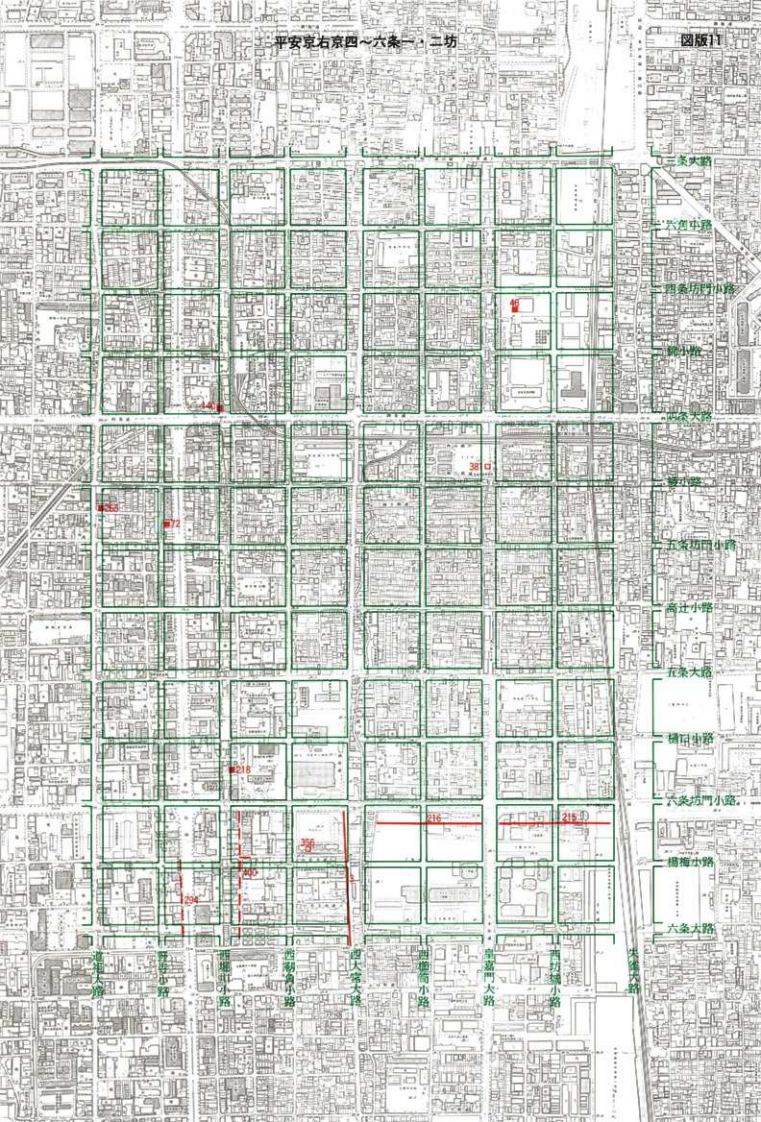
堀小路

北多小路

道徳大路







三条大路

六条小路

四条坊門小路

四小路

五条大路

四小路

五条坊門小路

高辻小路

五条大路

橘町車路

六条坊門小路

楊梅小路

六条大路

朱雀大路

高坊坊小路

高坊坊大路

高坊坊小路

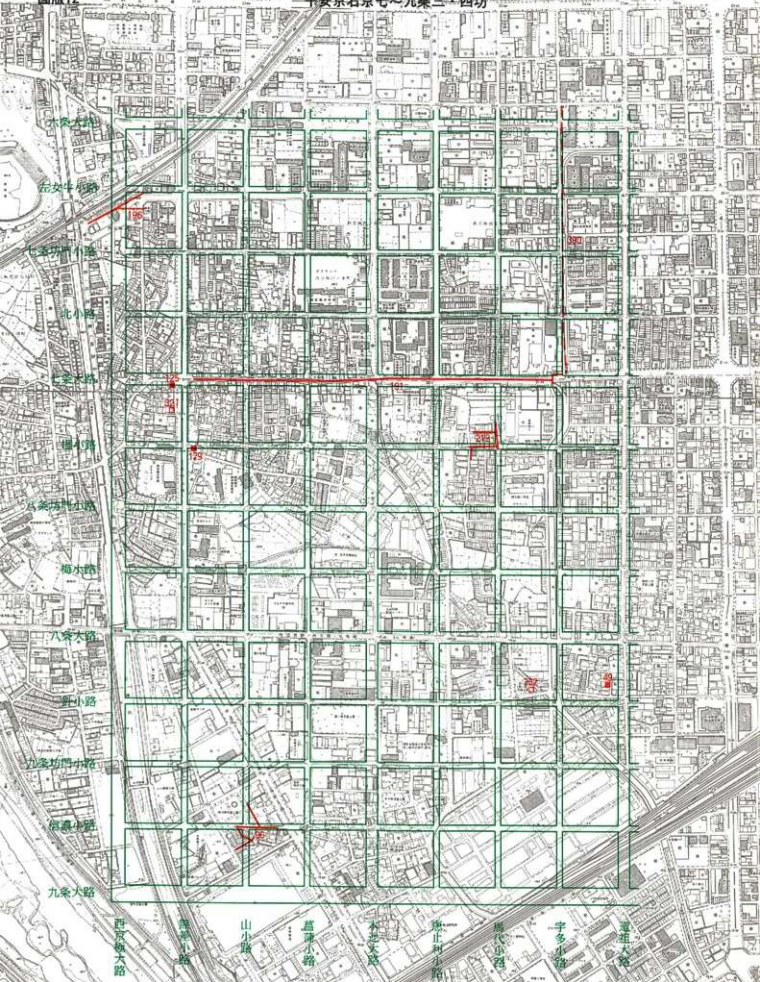
高坊坊大路

高坊坊小路

高坊坊小路

高坊坊小路

高坊坊小路



木曾大路

七条大路

七条坊門小路

北小路

七条大路

櫻小路

八条坊門小路

柳小路

八条大路

野小路

九条坊門小路

信濃小路

九条大路

西京極大路

藤原小路

山小路

藤原小路

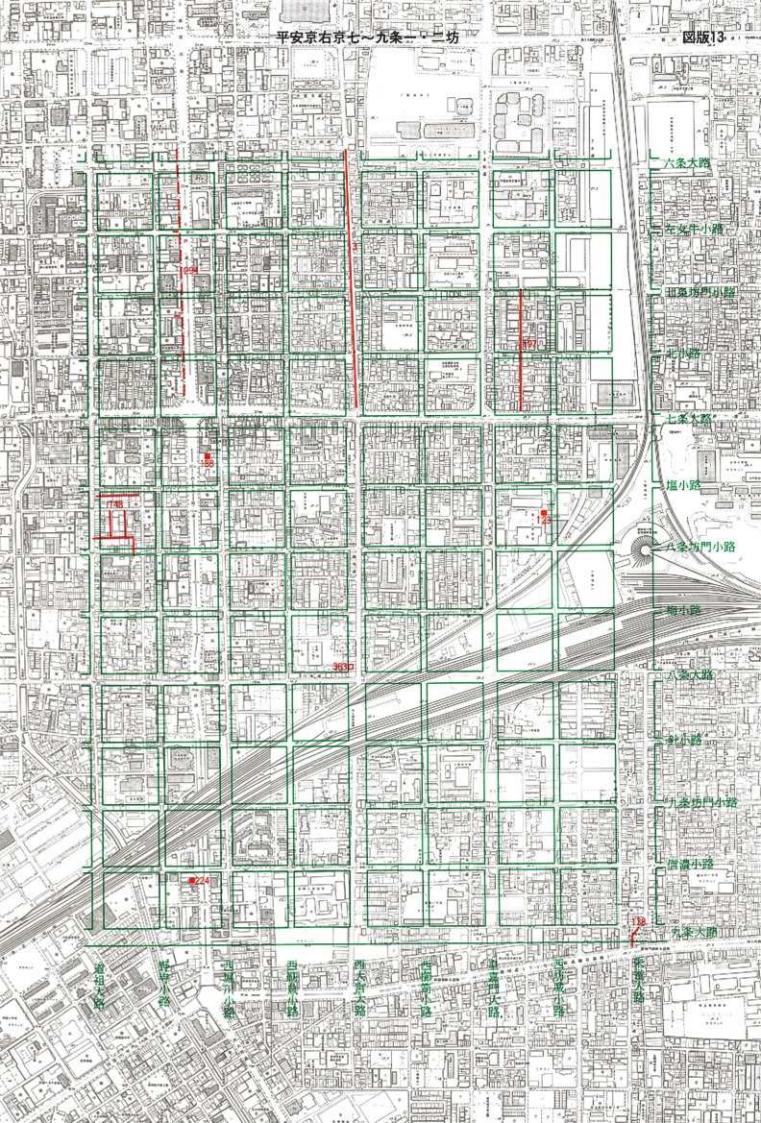
木池大路

藤原坊門小路

藤原坊門小路

宇多小路

道進大路



六条大路

左文字小路

御東坊門小路

北小路

七条大路

堀小路

八条坊門小路

堀小路

八条大路

東小路

九条坊門小路

信濃小路

九条大路

追分小路

野寺小路

西風川小路

西新橋小路

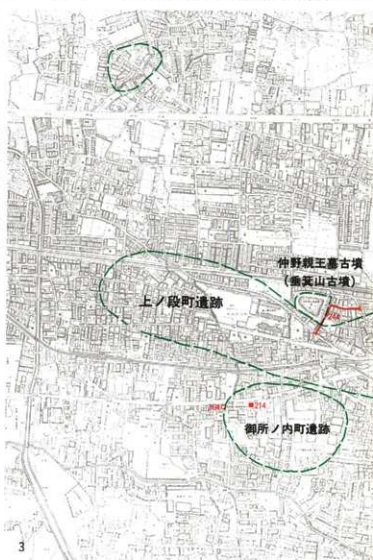
西大宮大路

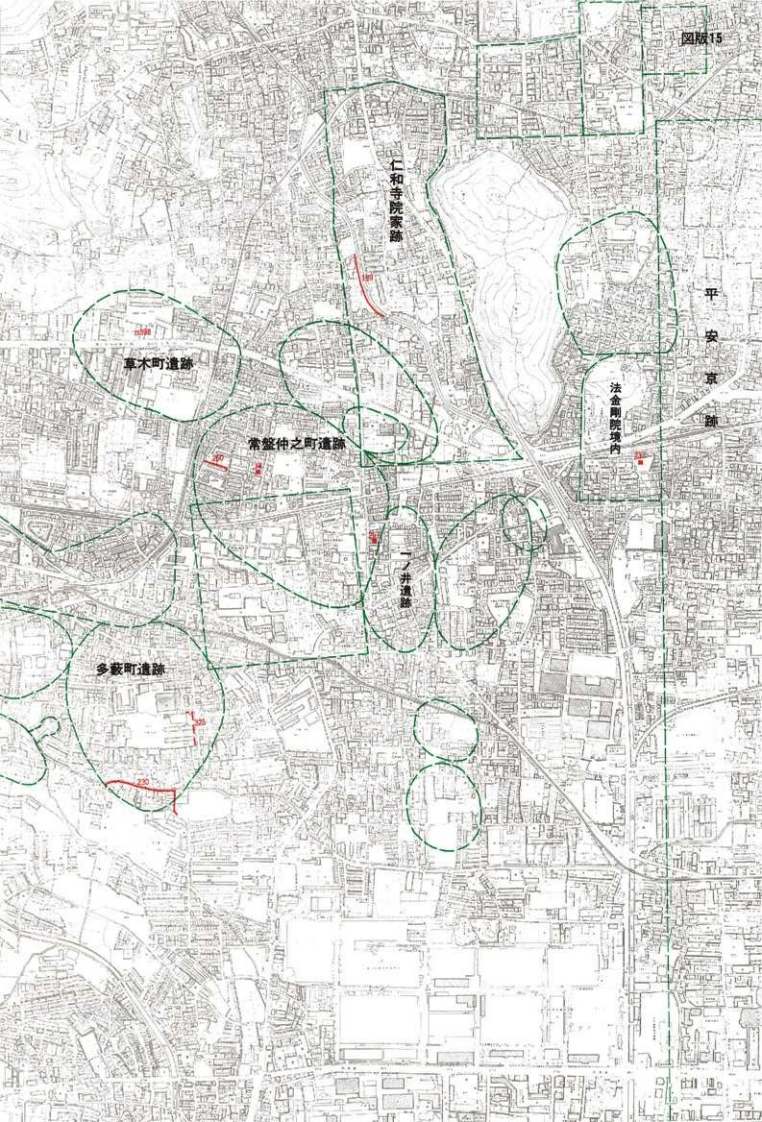
西新橋小路

西新橋大路

西新橋小路

西新橋大路





仁和寺院家跡

車木町遺跡

常盤仲之町遺跡

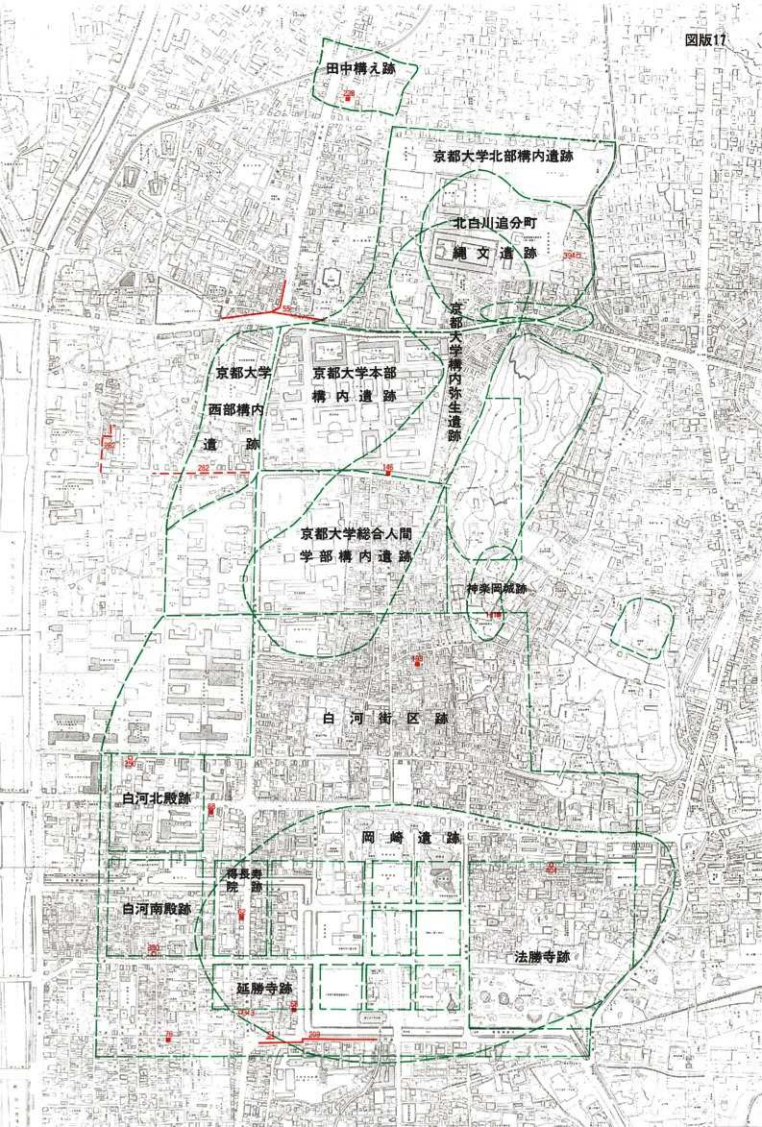
多藪町遺跡

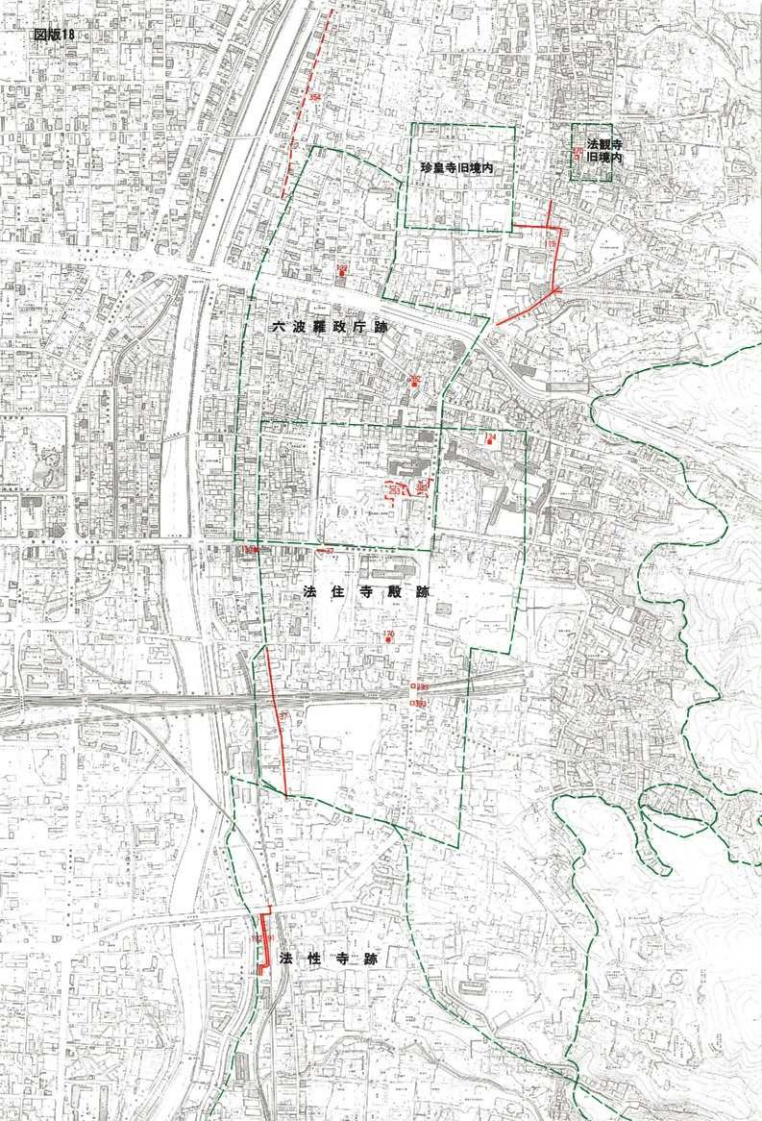
一ノ井遺跡

平安京跡

法金剛院境内







法皇寺旧境内

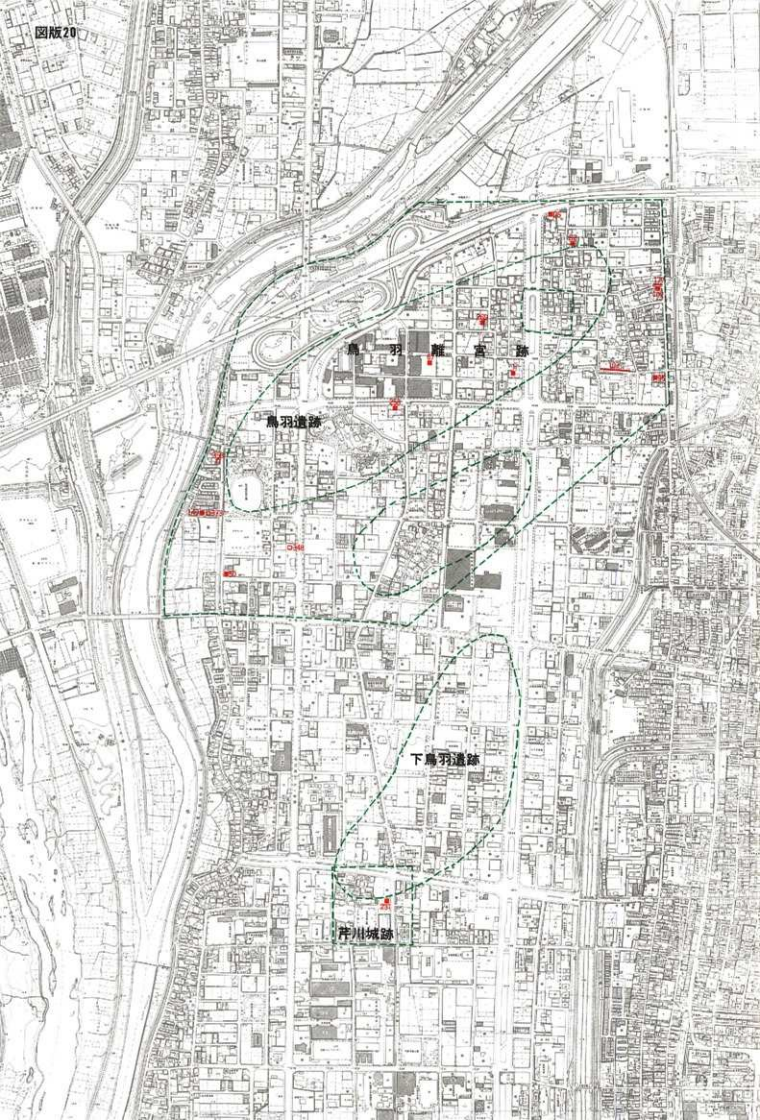
法觀寺
旧境内

六波羅政庁跡

法住寺殿跡

法性寺跡



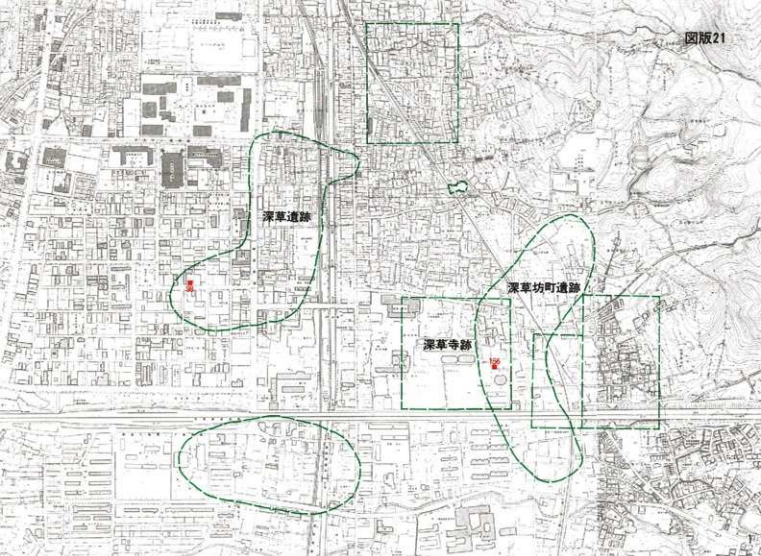


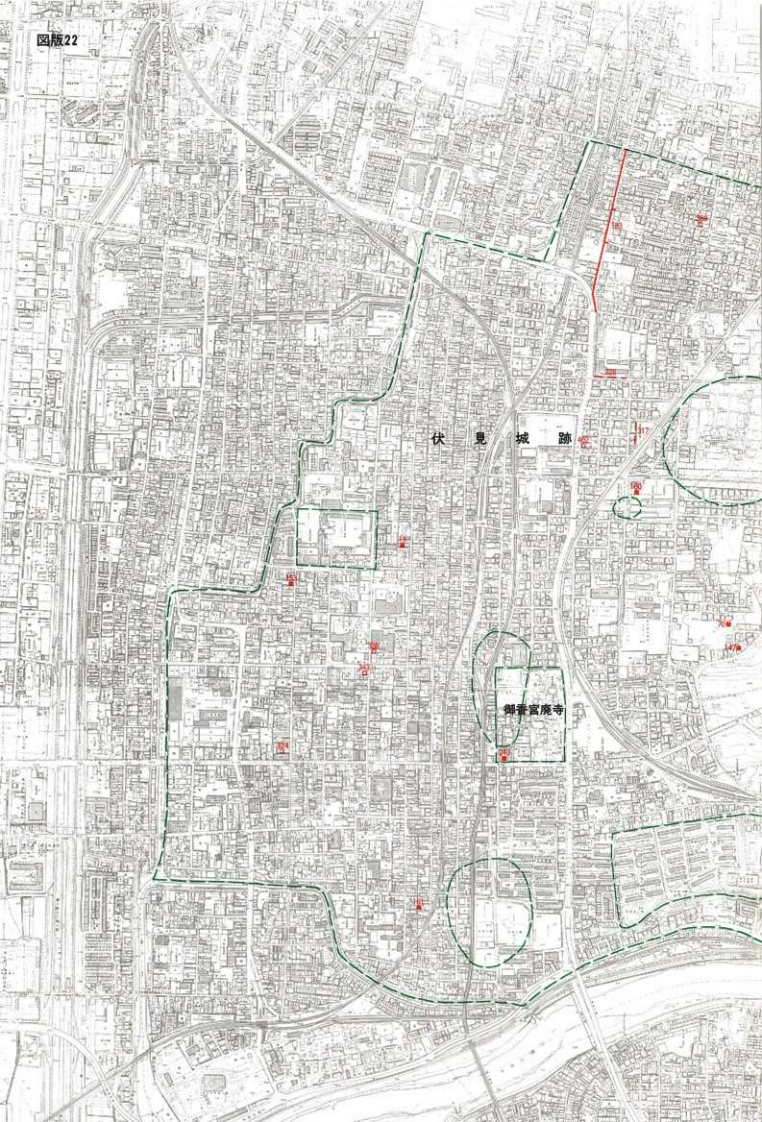
鳥羽遺跡

鳥羽離宮跡

下鳥羽遺跡

岸川城跡





伏見城跡

御香宮麩寺



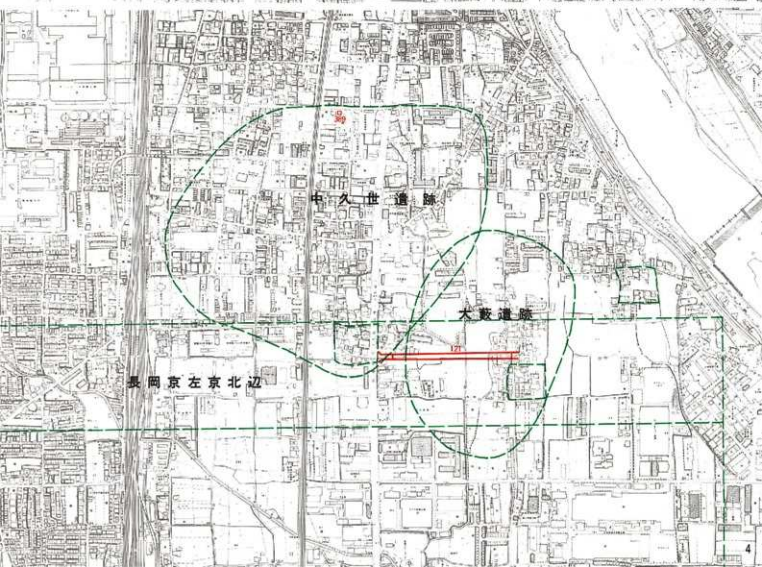
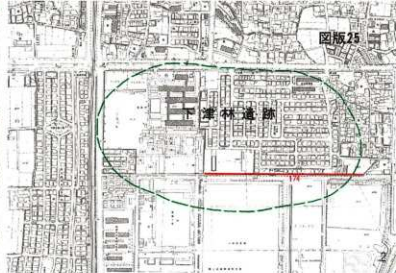
伏見城跡



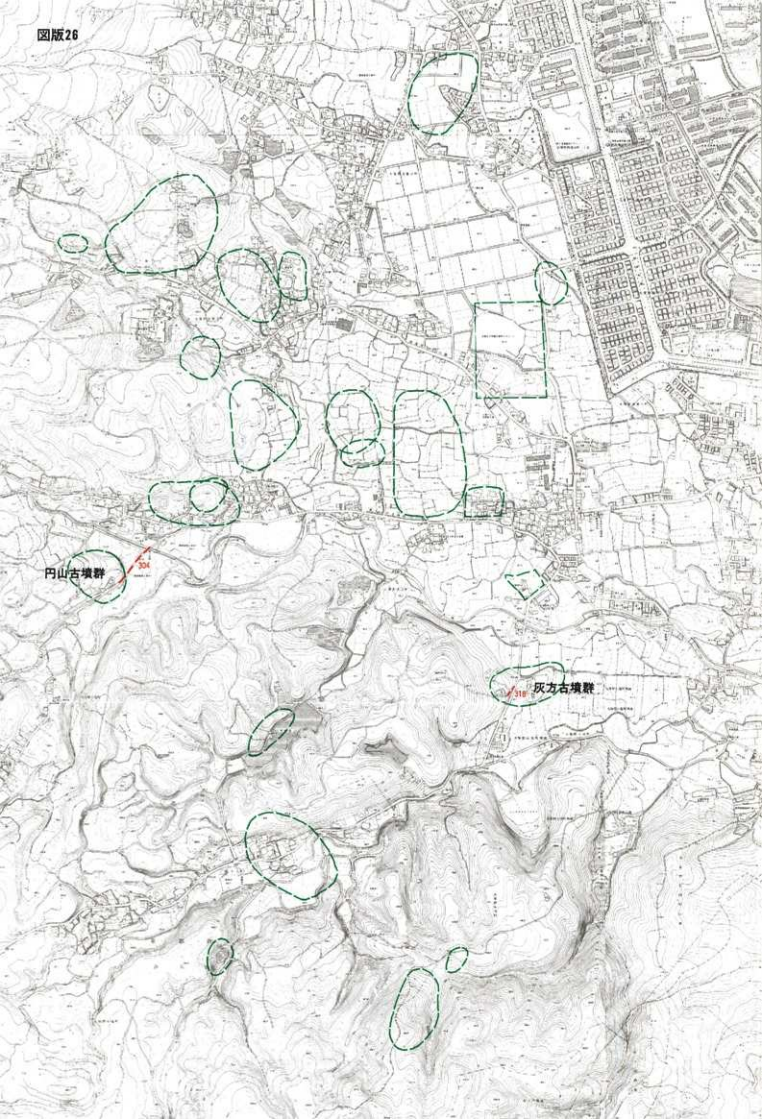
長岡京跡



長岡京右京北辺



長岡京左京北辺



円山古墳群

灰方古墳群

京都市内遺跡立会調査概報

平成14年度

発行日 2003年3月31日
発行 京都市文化市民局
住所 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488
編集 財団法人京都市埋蔵文化財研究所
住所 京都市上京区今出川通大宮東入元伊佐町265-1
TEL (075) 415-0521
印刷 真 福 社